

に歸化しても尙母國に對して愛國心を保持するから、斯かる者を市民とすることは米國の不利であると。日本人が將來歸化を許されて市民となる場合に、果して論者の言ふやうであるか否かは事實問題であるが、假に論者の言の如しとしても希臘人は何うである。一昨年、の土耳其希臘戦争の時に、米國に歸化した數千人の希臘人は、其の母國の國難に赴き干戈を執つたではないか。今回の戦争に於て獨逸人は何うである。千萬以上の在米獨逸人は協同一致、祖國の利益を圖りつゝあるではないか。其の母國に對する愛國心の強いことは決して獨り日本人に限ることでない、是を以て日本人に歸化を許さぬ理由とはならぬのである。況や歸化法の適用は亂脈であつて、白人以外の者にも歸化を許す今日、日本人に歸化を許すことは正當ではあるまいか。斯かる理由があるにも拘らず、日本人に歸化權を附與することに反對するのは、結局米國人は日本人が米國に同化し善良なる市民となるや否やを問はず、日本人は黃人であるモンゴリア人であると云ふこ

とを唯一の理由とするが爲に相違ない。歸化權を取得するには立法上の手段よりも、司法上の手段が適當であると考へるけれども、兎に角米國の輿論が一變して我れに有利とならぬ限り、成功の見込がない。然し手を拱いて輿論の一變を俟つことは恰も百年河清を俟つが如きものであるから、吾人は積極的に米國の輿論を改造すべく努力せねばならぬ。所謂啓發運動の必要此に存するのである。

## 第二節 啓發運動

### 第一款 排日の原因

排日は加州だけでない、程度の差こそあれ太平洋沿岸のワシントン、オレゴン諸州でも既に始まつて居る。太平洋沿岸に於ける排日感情は場所に依てさして異なることはない、唯特殊の事情の爲其の鋒銛を露骨に現はすと、現はさぬとの差違あるに過ぎぬ。ワシントン州では商業家の一部は利



益上日本人の味方である、又労働者が有力なる組合を組織して居らぬから加州のやうに此の方面からは目下のところ迫害がない。然し農業の方面では地主も小作人も日本人排斥である、今年春食料品小賣業者の組合も排日騒ぎを始めた、近き將來に於て漁業にも波及する慮がある。日本人の土地所有に關する憲法改正が否決となつたことは、第一章第一節第三款第一項に述べた通りである。オレゴン州も亦我が國が貿易上の好華客であるから、商業家の一部は排日に反對するけれども、労働組合の勢力はワシントン州よりも強大であるから甚だ不安心である、農業家の多數は曾て加州の排日派と相應じて、市民たるを得ざる外國人の土地所有禁止に賛成の決議をしたことがある。排日は太平洋沿岸には限らぬ、既にフロリダ、モンタナ諸州に及んだ、否、米國全體とは云へぬとも、少なくとも其の大半は排日の空氣を以て充溢して居るから、排日思想を撲滅し、先づ第一に歸化權取得、行々は紳士的協約の撤廢に對して、輿論の贊同を求める爲、米國到るところに於

て啓發運動を行ふ必要がある。加奈陀殊にビー、シー州の排日は其の形式こそ異なれ、激烈なることに至つては加州と大差がないから、此の地方でも亦米國同様一日も早く運動を開始する必要がある。然らば啓發運動とは何であるか。白人に對して我が國の真相を紹介し、誤解を辯解し、偏見を除去し、日本人に白人同様の待遇を爲すべきことを主張すると同時に、白人と伍して恥かしからぬやう日本人を改善し、其の品位の向上を鼓吹するを目的とする運動であつて、在米日本人會は既に此の運動を開始した。病人に藥を投ずるには先づ其の病根を究めねばならぬやうに、啓發運動を論ずるには先づ排日の由て來るところを知る必要がある。排日の理由は種々様様で樸を代へても及ばぬ位であるが、其の重なるものに就き少しく之を説明して見やう。

加州に於て排日は先づ經濟問題として現れた。明治三十二年の米國移民調査報告は日本人労働者排斥論の濫觴であつて、明治三十八年二月桑港



クロニクル新聞が新聞紙として初めて排日の火蓋を切つた。同紙は生活費の低廉なる日本人労働者が續々入國して白人労働者を驅逐し、太平洋沿岸を東洋化する危険がある、日本人問題は最早打棄て置けぬ、支那人問題同様全米國人民に壓迫を加へ、社會上重大の意義を有するやうになつたと警告して、排日の必要を絶叫した。其の後労働派の言ふところと大同小異で、太平洋沿岸には黄白労働者の駢立を許さぬ、亞細亞人驅逐せざるべからずと主張するのである。過去に於ては日本人労働者は低廉なる勞銀を以て満足したから、白人労働者が之と競争することが出来なかつたことは事實であるとしても、紳士の協約、轉航禁止等に依て、日本人の入國が制限せられてから、此の非難は當らぬやうになつて、今日では一部の資本家から日本人労働者は高給を貪ると云ふ非難を受ける位である。明治四十三年加州労働局日本人調査に依れば、日本人農業労働者の得るところは、白人労働者の勞銀と大した差異がなく、賄が主人持の時は白人労働者よりも平均の勞銀

額が高い。殊に日本人労働者は日給制度を好まず、仕事の分量に應じて勞銀を受ける者が少くない、此の場合には一般に白人労働者より所得が多いやうである。農業以外の労働者例へば家内労働者の如き、日本人の評判が大層好いのは、勞銀が低いからではなく、清潔正直信用するに足るを以てである。今日日本人労働者が白人労働者と競争することは、或る範圍内では否むべからざることであるけれども、其の勞銀が白人労働者より低廉、此れが爲白人労働者を驅逐し、生活状態を引下げると云ふ非難は殆ど根據のないことである。否、最近加州に來る南歐洲及東歐洲移民中、隨分日本人労働者よりも低廉なる勞銀を以て満足し、日本人労働者を驅逐する者がある。若し勞銀の低いことを理由として日本人労働者を排斥するならば、何故に先づ彼等を排斥せぬであらうか。排日派は又小地主又は小作人としての日本人農夫は甚だ勤勉で、白人農夫を壓倒するから排斥せねばならぬ、土地所有も禁止すべし、借地權も利奪すべしと主張して居る。我が政府の抗議



に對する米國政府の第一回回答も、問題は全然經濟的にして、農業經營上の競争を避けんとする加州人民が見て以て同州に存在すとする特殊の經濟事情に本くものに外ならず候。〔加州問題に關する日米交渉顛末參照〕と辯解して居るけれども、何故に日本人に劣らず勤勉努力する以太利人農夫を閑却して、特に日本人を排斥するのであるか。經濟上の競争を理由とするだけでは未だ排日を説明するに足らぬ。

日本人は永住の考へがない、其の貯蓄を本國に送り、相當の資産が出来ると歸國して、米國の發展に貢獻するところがない、日本人は出稼人に過ぎぬから排斥すべしと主張する者がある。然しながら出稼根性のある者は日本人に限らぬ、伊太利人、希臘人、其他南歐洲及東歐洲の移民皆同様である。伊太利人の如き其の本國に送金すること頗る盛で、明治四十年には約一億九千萬圓、明治四十一年には約一億五千萬圓、明治四十二年の上半期には約一億圓を送金した。餘程以前から盛に本國に送金して居て、其のお蔭で伊

太利は軍備大擴張の結果、一時非常に苦んだ財政難から救はたれと稱せられる位である。又南歐洲及東歐洲移民も多くは金儲けの爲米國に出稼ぎに来るのであつて、明治四十年に米國在住歐洲移民が其の本國に送つた金額は、約五億五千萬圓に上るさうである。我が國で廣島縣や和歌山縣の田舎では在米日本人の送金の爲、家屋はドン／＼新築され、地價は騰貴し、神社佛閣學校の新築改築も容易に行はれ、移民の出で居らぬ地方と頗る趣を異にして居るが、南以太利、埃匈國、希臘等でも、移民の澤山出て居る地方は同じ現象を呈して居るさうである。

廣島縣に於て最近調査したところによれば、同縣の總人口は百六十三萬七千二十人、其の内海外在住者は三萬四千十八人に上るさうである、即ち人口四十八人に付一人の海外在住者を見る勘定である。此等海外在住者が内地に落した金は一昨々年一ヶ年間に三百七十二萬六千五百九十五圓、其の内二百十五萬二千四百八十二圓は郷里送金、百五十七萬四千百



十三圓は持戻金である。此等の人々の在住地は布哇が第一で、米大陸之に次ぎ、此の二方面だけで總數の八割を超えて居る。

一般に出稼人は米國の利益とならぬから、之を排斥すべしと云ふ論はあるけれども、日本人以外の者で、此の理由で日本人の如く甚しく排斥される者があるであらうか。日本人は出稼人根性がなくても米國人の氣に入らぬ。近來妻を迎へる者が多いのは、出稼人根性を棄て、永住の覺悟をするやうになつた證據で、出稼人根性あるの故を以て日本人を排斥する米國人は、此の變化を見て喜ぶべきである。然るところ近來日本人が永住的になつて其の貯蓄を米國に投資し、抜くべからざる勢力を有するやうになるのは、米國の爲に危険であるから排斥すべしと主張する者が現はれて來た。米國移民總監キャミネチが寫眞結婚に反對し、呼寄せ婦人の入國を禁遏すべしと主張するは此れが爲である。永住する覺悟がなければ排斥され、永住の覺悟をしても亦排斥される、何うしてもより深い排斥の理由がなくては

此の矛盾を説明することが出来ぬ。排日に經濟的原因があるには相違ない。日本人労働者の加州に於ける活動は、先づ白人労働者の排斥を招き、日本人が加州農業界に於て事業經營家として發達するに連れて、排斥が形を變へて最近の加州土地法となつたに相違ない。然れども經濟的原因是、排日の主たる原因ではない、若し主たる原因であるとすれば、日本人より生活の低い南歐洲及東歐洲移民に對するよりも、日本人に對する排斥の深刻なるは何故であらう。何故に僅か六萬人許りの日本人、紳士の協約の結果今後増加することなき日本人を、年々續々入國する歐洲下等移民よりも激烈に排斥するであらうか。經濟的原因以外に有色人に對する偏見があつて、是が排斥の主因であることを認めるにあらざれば、十分に排日を説明することが出来ぬ。

社會上道德上の問題として日本排斥を主張する者がある。日本人には罪、家庭等の觀念が缺けて居るから、歐洲文明國民と伍する資格がない。日



本人には男女間の道徳がない、賣淫は日本人の特殊の仕事である、妓樓は日本人の住するところには必ず繁昌する。日本人は病的の賭博者である。日本人は信頼するに足らぬ人民で約信の重んずべきことを知らぬ。日本人は相集まりて一區廓を爲し、支那人街同様の不體裁な生活を爲すものが少くない。曰く何。曰く何。斯かる者が米國に居住しては其の社會に大なる危険を與へ其の文明を破壊するから、あらゆる手段を以て之を排斥せねばならぬと論ずるものがある。日本人の文明が或る點に於て白人の文明に比較して劣るところあることは、否むべからざることである。排日派の非難も一概に出放題の罵詈讕と云へぬこともある、在米日本人は内に省みて大に改善を計り向上の道を辿らねばならぬ。日本人が白人から離隔し不體裁な生活をすることは遺憾ながら事實である、然しながら日本人が斯かる生活を爲すには已むを得ざる事情もあつて、必ずしも日本人を咎めることが出來ぬ許りでなく、又斯かる生活を爲す者は必ずしも日本人だけ

ではない。以太利人を始め希臘人、ポーランド人等歐洲下等移民が、群居部落を爲すことは隨分例のあることで、殊に希臘人の如き相集まつて丸で本國其の儘の下等生活を爲し、自國人以外の者と交際することなく、滞在數年歸國の時に一字も英語の読み書きが出來ぬ者が少くないから、日本人が社會上、道徳上劣等であることも排日の主たる原因ではない。

日本人は市民たるを得ざる者であるから排斥すべし。市民たるを得ざる者が土地を所有し、經濟上鞏固な基礎を有するやうになつては、米國の國家的存在に危険であると云ふのは、一應道理のあることであるが、民族的偏見の爲日本人に歸化を許さず、爾うして市民たるを得ざるの故を以て之を排斥することは無理である。結局排斥は民族的偏見に出で、唯日本人の歸化權なきに乗じたものに外ならぬのである。

詮じ來れば排日の主因は、皮膚の色の相違即ち人種の相違及東西文明の相違に本く偏見、即ち民族的偏見に外ならぬ。加州フレズノ市フレズノ、レ



バブリカン新聞主筆ローウエルは、排日の原因が民族的偏見にあることを、露骨に明言して居る。氏の云ふところに依れば、日本人の性質は善良である、歐洲移民中最優等の英、獨人よりも入國の際平均一人所持金が多く、南歐洲及東歐洲移民よりも教育がある、彼等の大多數は健全で而も働き盛りの者であり、公の救助を仰ぐ者がなく、重大なる犯罪を爲す者が少い、伶俐にして元氣があり、獨立心に富んで居る、若し日本人が白人であるならば無制限に之れを歓迎すべしと無上に賞め立てた後で曰く、斯かる善良なる移民を排斥する理由は全く人種的であると。加州土地法起草者たる加州檢事總長ウエツプは土地法制定の理由を説明して、土地法を制定したのは、日本人が劣等であるからでもない、優等であるからでもない、唯望ましからぬ者であるからであると辯解して居る。唯黃白相異なるが故に、在住日本人の權利を制限して加州から逐ひ出さうとするのである、民族的偏見でなくて何であらう。ローズウエルトは日本人排斥の急先鋒である。氏は明治四十

一年七月米國海軍兵學校の卒業式上、劣等移民排斥の實を擧げる爲には或は外國と衝突を惹起すこともあらうから、豫め之に對する準備と覺悟とを必要とすることを説き、海軍擴張の一日も忽にすべからざることを喝破した。越えて十月横濱市小學校の生徒が米國々歌を歌うて歓迎した米國艦隊は、氏が米國は移民排斥の目的を遂行し得る手段を有することを示す爲派遣したのである。氏は昨年十一月アウトルックに寄書して、日本人排斥の理由を斯う説明して居る。「世界進歩の現在の狀態の下に於て兩者文明の懸隔甚だしきか、兩者均しく高等の文明を有するも、其の文明が全く型を異にする人民の接觸は避くべきことで、兩者が人種を異にし生活の程度を同ふせざる場合に於て殊に然りとするのである。日米兩國人が同じ所に居住するは、甚だ好ましからざることで必ず惡結果を生ずるから、兩國の先見の明ある政治家は之を防止せねばならぬ。然しながら此のことは決して一國が他國よりも劣等であるが爲でなく、兩國が全く違つて居るからで



ある即ち氏も亦民族的偏見に捉はれて、此の言を爲すものである。以上の諸氏の如く皮膚の色や文明の相違を理由とせず、日本人は米國に同化せぬ、斯かる同化せぬ者の居住を許すのは危険であるから之を排斥すべしと云ふ者がある。米國大統領ウキルソンの如きは、高加索人と混合せざる人民を以て、純一なる米國市民を作ることを得ざるを排日の理由として居る。其の他米國の識者中同様の意見を有する者が少くない、故マハン少將の如きも其の一人である。在米日本人は容易に米國に同化せぬやうであるけれども、是は日本人に限つたことでない。前世紀の中葉盛に米國に入國した獨逸人及愛蘭人、殊に後者の同化は頗る困難であつた。最近毎年入國者の多數を占める南歐洲及東歐洲の移民の如きは、同國人相集まつて米國の真中に小以太利や小希臘を作り、米國人との接觸を避けて一向同化せぬことは何人も知るところである、然るに何故に特に甚だしく日本人の不同化を責めるのであるか。日本人は今日迄のところでは左して同化して居ら

ぬけれども、其れは半ば米國人の罪である。日本人に歸化權を附與せず、あらゆる迫害を加へて、揚句の果は、加州から逐ひ出さうとするではないか。日本人が同化せぬのではない、米國人が同化させぬのである。斯様に猛烈な虐待を受けても公平なる米國人の認めるやうに、日本人は善良なる住民であることから考へて見れば、若し日本人を白人と均等に待遇したならば、立派に同化することは疑がない。愛蘭人が長い間米國に同化しなかつたのは、他の米國人が彼等を排斥し虐待したからではないか、日本人が若し今日同化せぬならば、其れは同一の理由に本くものである。更に第二代の者即ち米國生れの日本人兒童の多くが最早精神的に日本人でなく、ヤンキーであることは疑ふべからざることである。ウイルソン一派の日本人不同化論も、矢張民族的偏見に出づるものに外ならぬ。

要するに米國人が日本人を排斥するのは、米國を以て白人の繩張内とし、之を永久に白人のものとして保存する爲である。是は結局黄色二大民族



の隔離を實現しやうとするもので、前駐米英國大使ブライスが賛成を吝まなかつたところである。氏が昨年黃白人間に民族的反感の結果として生ずる危険は甚大である、各民族は成るべく各其の領土内に蟄伏することを得策とする、と云ひ、濠洲聯邦内閣首相フィッツジャーも亦昨年桑港に於て、日本人は白人國に取つて望ましからぬ人民である、加州が土地法を制定して之を排斥したのは尤ものことであるとして、加州人の排日に多大の同情を表したのは、何れも民族的偏見に本く白人の我田引水論である。

米國一流の人々すら民族的偏見の奴隸である。一般人民には勿論此の偏見のあるところへ、政治屋や黄色新聞雜誌等が、排日の好材料として日露戦争が惹起した政治的恐怖心を利用し、日本人の多數は兵士として訓練を受けた者であるから、何時蜂起して加州を占領するかも知れぬとか、何とか色々捏造虚構歸するところ各自の利益の爲に負けず劣らず排日論を鼓吹したことも、過去に於て排日の盛であつた理由の一である。又最近に於て

は民主黨と加州進歩黨との黨派争ひに利用された爲、甚だしくなつたことも疑ひのないことである。其の他細々しい原因は未だ幾らもあらうが、結局一民一般に民族的偏見があり、經濟上の競争や日本人の社會上道德上の缺點等が之を刺戟するところへ附込む、政治屋や新聞雜誌の無責任なる煽動が其の功を奏して、執拗な排日運動となつたのである。然らば排日運動撲滅の爲にする啓發運動は、如何なることを爲すべきであらうか。此の運動には二方面がある、一は日本人に對し、一は米國人に對するもので、前者を内的啓發運動、後者を外的啓發運動と稱へる。

## 第二款 啓發運動の實行方法

### 第一項 内的啓發運動 附日本人問題 童教育問題

加州許りでなく、米國(加奈陀も同様)在住日本人一般に對して、風俗習慣、思想の改善品位の向上を鼓吹する運動の必要がある。然し形から心まで一



切直に米國式になれと云ふのではない、一代位で心まで米國式になることは無理な注文であるが、明かに白人に比して劣等なる點を改良し、彼等の非難を招き侮辱を蒙らぬやうにすることは肝腎である。此等の點に關しては在米日本人も夙に覺悟するところあつて、先年來幾多改善の計畫を進めつつあるが、此の上にも品位を高めるやうにせねばならぬ。改善すべき點は今日尙多々あるが、其の一は賭博の弊風である。加州の南から、ワシントン州の北まで、到るところの日本人中支那賭博に耽る者が少くない(加奈陀でも中々流行するやうである)、此れが爲に費すところ恐らく一ヶ年百萬圓以上であらう。汗水垂らして得たところを、一晩に失ひ、働き次第で一廉の金持となることの左して六ヶ敷ない米國で、何時までも其の日暮しの貧乏をするのは愚の極である許りでなく、米國人が輕蔑する支那人と伍して日本人の品位を汚し、排斥を招く口實を作りつゝあるは如何にも残念である。予は決して日本人が聖人君子となることを望むものではない。言語、風俗、

習慣等が違ひ、教育程度の低い人々にとつて樂みの少い土地のことであるから、時折多少の手慰みをする位のことには無理はないけれども、支那人の賭博宿に注ぎ込む爲、年中苦勞をする馬鹿な人間が同胞中にあるのを見ては、情なくならざるを得ぬ。道德上の見地からも、經濟上の見地からも、是非改善を要すること、各地の日本人會が此の弊風を矯正する爲、奮闘努力しつつあるは、頗る感謝すべきことである。不幸にして支那人の賭博宿は、容易に警官に檢擧せられぬやうな仕掛が出来て居る上に、晚香坡の警察の如きは東洋人同志なら勝手にしろと云ふ調子であるから、勞して效なき有様である。

日本人農業労働者は近來其の評判が面白くない。我儘で統御し難く、日給にすれば白人の労働者と同じく仕事に不熱心で、出來高拂にすれば甚だ仕事に不親切である、支那人が遙かに良好なる労働者であると云ふ評判があつて、明法四十三年米國移民調査委員報告、日本人の農業家すら同様の不



平を漏す者がある。互に相警めて未だ甚だしからざる間に改むるところなければ、日本人労働者の聲價を失墜して、取返しのかねることになるであらう。次に日本人は契約を重んぜぬと云ふ非難がある。元來日本人が權利思想に乏しく、英語に不十分の爲、此の非難を招くやうなことをすることが往々ある。例へば日本人の借地人が、借地契約書に依て如何なる義務を負担するかを詳かにせず、輕卒に之に調印し、後に地主の請求に會うて義務の意外に重きに驚き、契約を履行せぬことが往々あるさうであるが、不都合千萬のことである。自身英語が出来ず地主と取結ぶ契約の意味が分らぬならば、近傍の日本人會へでも持參し相談の上調印すべきであつて、權利思想の盛なる白人と交渉するには、此方も白人の心掛でやらねばならぬ。「郷に入つては郷に従へ」の覺悟が肝腎である。

日本人の家屋の改良も亦望ましい。加州の南からワシントン州の北まで數千里の間、到るところの田舎で陋穢を以て目立つのは必ず日本人の家

である。米國にジャップ、ハウス(ジャップの家)と云ふ特別の文字があるのは、日本人の家は家と云ふ文字を用ふることが出来ぬ程下等であるからで、白人の侮りを招く所以である。尤も家の改良實行には往々困難な事情の伴ふことは察するけれども、出来るだけ實行して貰ひたい。家などはどうでも宜い、食事は臺所で済まして結構とする日本流は米國では禁物である。其の他禮拜日を守ること、料理屋で夜遅くまで馬鹿騒ぎをして隣人に迷惑を掛けぬこと、住宅の周圍を清潔にすること、曰く何、曰く何、注意すべきことは澤山ある。

内地の人は在米日本人の話が出ると、忽ち眉を擧めて出稼人かと一概に輕蔑し、劣等民視する者があるけれども、其れは大なる見當違ひである。彼等は文明國に居て刺戟を受けることが多いのに加へて、最近排日の甚だしきに連れ各自相戒むるところある爲め、非常に服装等に改善を加へた許りでなく、風紀も漸次善くなつて來るやうである。獨身者が少くなつたこと



も風紀改善の一の大なる原因であると思はれる。兎に角彼等を内地の同階級の者に比べたなれば、數等優つて居ることは疑ひないことであるけれども、それでも尙改善すべき點が幾らもある。此等は本來我が文明が白人文明と異なるか又は残念ながら劣つて居るから生ずることで、在米日本人だけの缺點でない。例へば料理屋で大酒を飲み、深夜に騒ぎ廻つて、近所隣に迷惑を掛けることは、白人の非難を受けるところであるが、内地では堂々たる紳士が平氣でして居ることである。在米日本人社會に賭博賣淫の行はれるは改善を要することであるけれども、内地にも之に耽溺する所謂紳士なるものが充滿して居る。要するに在米日本人の状態は内地の縮圖で、日本人の共通缺點を暴露するに過ぎぬ。彼等を下等人扱して一概に擯斥することなく、親切に指導し出来るだけ郷に入つては郷に従ふの覺悟を有たすことが第一義である。今日のところ此れ以上を望むことは出来ぬ、急に萬事米國式になれ、米國魂になれと注文するのは難きを責めるものであ

る。

我が識者中には日本人を甚だしく劣等視し、日本人の知識が進歩し徳義心も向上し文明國民と肩を並べて歩けるやうになれば、歐洲移民と同等の取扱を受くべき權利を主張し得やうが、今日のところは遺憾ながら出来ぬ、移民の自由は當分斷念めるの外ないと云ふ者がある。耶蘇教徒の中には同様の考を有つて居る人が多いやうで、昨年春加州土地法問題沸騰の際、東京の耶蘇教雜誌が、日本人が加州に於て排斥されるのは當然のことであると論じたことがあつた。更に又昨年加州に於て開催された耶蘇教萬國共勵會へ、我が國を代表して出席した某牧師は、加州某處に於て米國人に對し、「日本人は性格低くして信賴し難く、冷酷無情にして博愛慈善の精神がない、之を改善するには耶蘇教の力に依らねばならぬから、米國人は今後益多數の牧師を我が國に派遣されたい。」と演説したことがあつた。嗚呼自ら侮つて後人之を侮る、日本人が米國否世界到るところに於て白人から輕蔑を



受けるのは無理からぬことである。在米日本人は決して上等の者ではないが、南歐洲及東歐洲移民に比較すれば優るとも劣る者でないことは公平なる米國人の認めるところであるから、此等南歐洲及東歐洲移民と同一の取扱を要請することは當然のことである。一般に公平に適用する標準に依て移民の選擇をすることは米國の自由であるけれども、民族約偏見の爲入國に關し彼我の間に差別約待遇をするは非理不道である。日本人排斥は日本人の名譽の爲、利益の爲、何處までも米國と争ふべきことで、當分移民の自由はないものと斷念めるなどは以ての外のことである。在米日本人に對する啓發運動と共に、此等自尊心なき西洋人崇拜病患者に對する啓發運動も亦必要であると信する。

## 日本人兒童教育問題

序に述べたいことは米國生れの日本人兒童教育問題である。明治三十八年日露平和條約締結の爲、小村侯がポーツマウスに行つた時の話である。

侯がシャトルに著した時、同地の日本人は侯に對して彼等の發展の狀況を陳述し、日本人小學校の參觀を乞ふた。侯は學校を參觀して其の經營を推賞し、維持費として千圓の寄附をした。其の後侯が歸朝途次晚香坡を通過した時、在住日本人の乞ひに任せて日本人小學校を參觀し、其の事業を賞讃してシャトルと同額の寄附をした。此の後シャトルの日本人も、晚香坡の日本人も、其の小學校に對して侯の獎勵を受けたことを誇りとしたが、何ぞ知らむ此の二つの小學校は根本に於て全く主義を異にするものであつた。シャトルの方は同化を主義とする學校であるが、晚香坡の方は國民教育を目的とする學校であつて、侯は豈か二者の間に大なる相違があることを知らなかつたのであるまい、さりとて同化主義でも反對の主義でも結構と云ふ譯でもあるまい、侯のこと故定めし此處まで其の外交的手腕を弄したこと、思はれる。此の二ヶ所だけのことはなく、米國なり加奈陀なり到るところで日本人兒童教育は大問題である。



米國生れの日本人兒童教育に關しては三つの主義がある。其の一は純日本主義の教育即ち我が國民教育を施すもの、其の二は純米化主義即ち全然米國公立小學校で教育をするもの、其の三は折衷主義即ち米國の公立小學校に通はせる傍、日本人小學校で補習教育を施すものである。抑も米國生れの日本人兒童は米國人であつて、米國で其の一生を送ることが適當であり、又米國に於ける日本人發展の爲望ましいことである、而して其の親が米國に永住する決心ある以上は純日本主義は行はれぬ。さりとして純米化主義も亦不可である。此等米國生れの日本人兒童は、米國人であるけれども、同時に日本人であるから、日本文字が一字も讀み書き出來ず故國のことが少しも分らぬやうでは、種々の不便不都合があるから、折衷主義でなければならぬと云ふことになるのである。補習學校に關して考ふべきことは、兒童が公立小學校へ毎日通學する上に、補習學校で一週間少くも九時間乃至十二時間授業を受けて居るが、此の特別なる負擔は未だ身心の十分發達

せぬ兒童に取つて荷が重過ぎる懸念があるから、成るべく授業時間を減少し兒童をして過勞せしめぬことが必要であらう。或る學校の如く世界一般の地理、唱歌、圖畫、體操等、公立學校で教へるところのものを更に繰返し教授することは、徒らに兒童を苦しめ害ありて利なきことである。若し夫れ兒童の親達に補習教育の效能を示さうと云ふ野心から、唱歌、圖畫のやうな兒童の成績の目立ち易いものを課するならば、此等學校經營者は可憐の兒童を自己の利益の犠牲とするもので、不都合千萬である。補習教育は日本語の外に時間の餘裕がある場合に珠算、女子には裁縫を課し、簡単な日本歴史と日本地理を教へたならば十分である。是でも或は兒童の負擔が重過ぎるかも知れぬけれども、米國人であり日本人であると云ふ特別の身分を有する者であるから已むを得ざることである。注意すべきは補習學校では我が國民教育を施すべからざるは勿論のこと、米國市民としての教育も施す必要がないことである。一體補習教育に關し多年米主日從、日主米從



二主義の争があつて、最近前者の勝利となつたけれども、米主日従なる文字は未だ幾分か我が國民教育に執着することを示すものではあるまいか。補習學校では米主日従も、日主米従もあつたものでない、唯米國公立學校教育の補習として上に擧げた科目の教育をすれば澤山である。

在米日本人中には、元來永住の覺悟のない者があり、最近排日が激烈となつた爲、永住する覺悟のあつた者も、前途を悲觀して腰がグラッキ初めたやうである。永住するや否やが分らず、都合に依れば遠からず歸朝するやも測られぬことになれば、其の子を米國式に教育しては、歸朝した時役に立たぬ人間となる心配もあらう。兒童の教育に迷ふ者のあるは尤も千萬なことである。此の點から見て加州サンノゼ日本人小學校經營者たる高橋氏が、純日本主義の教育、即ち専ら二代目の日本國民を養成するを目的とする教育の必要を主張するは、一應理由のあることであるけれども更に深く考へて貰ひたいことがある。先年墨西哥某地在住日本人が、墨西哥生れの

兒童(墨西哥國法上墨西哥人たる)に我が國民教育を施す爲、人を内地に派して教師を求めたことがあつた。日本人最員の米人横濱の故グリーンが、當時其の話を新渡戸博士から聞いて或時予に向つて、他國に在つて其の國中に國を造らうとすることは不都合である、若し日本人が米國に於て同様のことをすれば、排日派は定めし之を捉へて排日の有力なる材料とするであらうが、自分は日本人の爲に之を辯解するの辭がないとして、米國生れの日本人兒童教育問題に就き予の注意を促したことがあつた。尤も千萬のことで、生長すれば米國の政治に參與する權利のある者を、日本國民として教育されては米國にとつて危険千萬のことである。マハン少將は昨年タイムスに寄書して、日本人は米國に對し歸化權を要求するけれども、米國制度の精神に調和し以て其の歸化權の取得を容易ならしめんとする覺悟に至つては、之を發見することが出來ぬと論じて日本人排斥に賛成した。純日本主義の教育を主張する人々は、二氏の言を十分に味つて貰ひたい。斯く言



へば早晚親に伴はれて歸朝する米國生れの兒童の教育を、どうするかと云ふ反問が必ず出るであらう。幼少の者を親の膝許から離すことは、甚だ面白くないことであるけれども、内地に送還して教育するの外はない。米國の市民權ある日本人兒童に、我が國民教育を米國々内ですることは、穩當のことでないと思ふ。

## 第二項 外的啓發運動

米國人と云ひ、加奈陀人と云ひ、日本人に對して偏見を有し之を排斥するは、一は我が國に關する知識が缺乏し我が國を誤解するからでもある。彼等が我が真相を解せざるは、恐らく日本人が彼を解せざるよりも甚だしいであらう。布哇生れの日本人兒童で故國を輕蔑するものがあるさうである。蓋し彼等の見馴れたる日本人の家は陋穢なる日本人勞働者のキャンブである、彼等が學べる地理書の挿畫に依れば、我が國は今日尙駕籠を唯一

の交通機關として居て汽車や汽船の設備がないやうであるから、東京は布哇のホノル、に劣り、我が國は布哇以下であると考へて居る者がある。然るところ昨年布哇の日本人中學校の生徒が、觀光團を組織して故國を訪問し、東京はホノル、に數倍する文明的の都會であることを觀てから、頓に故國に對する尊敬心を増すやうになつて、學生の思想に及ぼした影響顯著であるさうである。嘗に布哇日本人兒童だけでない、米國人も亦同様である。來朝して我が國の事情を研究した者で、日露戰爭で評判の高い武勇の國を、遠方から眺めて感服して居た者が、親しく之を視察するに及び、其の文明は薄つぺらで、一皮剝いたら半開の日本が露出する、日本人は將來のない國民であると、歸國後輕蔑の言を吐くものがあるけれども、亦我が國に觀光の客となつてから、曩の我に對する輕侮の念を捨て、我が國の貴重なる友人となる者もある。アウトトルックが最近其の態度を變じて多少我に利あるやうになつたのは、定めし交換教授として來朝したメービー博士が與つて



力あることであらう。排日の中心地たる加州でも同様のことがある。民族の相違の爲、唯何となしに日本人を憎悪する、所謂喰はず嫌ひの人が少くない、此等の人々の中には日本人と接觸するに及び、一變して日本人好きとなる者がある。偏見の爲日本人を排斥して居た下宿屋の主人が、或る事情から一度日本人を客として以來、スツカリ日本人に惚れ込んで仕舞つて、日本人を大歓迎するものがあることは間々聞くところである。南加州ロスアンゼルス市に在住し、洋食店を經營して成功した茂川氏の談話に依れば、氏が數年前同市中等社會の住宅區域に借家の約束をして引越の當日、近所隣の白人借家人は黃人を隣人とすることを不快とし、家主に抗議して約束の取消を迫つた。家主は茂川氏に對しては氣の毒、さりとて白人連の主張を無視することも出來ず、板挟みとなつて大困りの揚句、白人連を宥めて一時の辛抱を頼み、茂川氏に對しては隣人の感情を害さぬやうに勉強することを求め、一ヶ月の後隣人が尙氏の立退きを求めるならば、費用を支辨する

から引越して貰ひたいと嘆願に及んだ。氏は承諾の上出來るだけ清潔に規律正しく生活し、日本人の體面を汚さぬことを努めた。約束の一ヶ月を經過した時家主の通知は意外千萬、立退きどころでない、隣人は茂川氏の居住を喜ぶとのことで、氏は其の後引續き其の家に住ひ、隣人と往來して親密に交際して居る。我が國に關する知識の缺乏の爲、或は又新聞や雜誌の舞文曲筆の爲誤解を生じ、此れが爲、偏見を強め排斥騒ぎを爲すことあるは以上の例に照しても明である。

米國人に對して我が國の真相を紹介し、誤解を辯明し、日本人は南歐洲及東歐洲移民に比較して優るとも劣る者でなく、善良なる市民となる資格があることを悟らしめることは刻下の急務である。然しながら米國に於て斯かる運動即ち啓發運動をして果して成功の見込があるであらうか。若し日米地を更へ我が國に多數の米國人が移民として到來し我が國で之を排斥する場合に、米國人が日本人に對してする啓發運動は成功の見込がある



であらうか。我が社會の事情は到底此の如き運動を許さぬ。米國人の味方となる者は四方八方から國賊呼はりをされるはまだしも、随分暗打も喰ひ兼ねぬから、斯かる危険を冒してまでも米國人の味方となつて、排斥の都合不條理を主張する勇氣がある者は澤山あるまい。米國人は爾うでない。一體米國には我が國のやうに無暗に國賊呼はりをして人を陥れ、愛國を賣物とする危険人物がない、相互に人をして自由に其の信ずるところを主張し欲するところを行はしめる度量があるからでもあらうが、一般に日本人のやうに臆病でなく、所信をどしどし公けにする勇氣のある人が多い。此の點は日本人と雲泥の差のあるところで、日本人の學ばねばならぬ米國人の長所である。斯かる國であるから排日の最も甚だしい加州でも、日本人の爲排日派の主張を辯難攻撃する者が少くない。吾人は此等の人々に對し深厚なる謝意を表さねばならぬが、中にも感服せざるを得ざるは、一村舉つて排日派のところて毅然日本人の爲に奮闘する一人の女子がある。

其の人は加州の都サクラメントを去る約九哩の地にあるフロート村のブラウン嬢である。此の村は日本人が入込む前は牧草位の耕作をやつて居て、地價も廉く借地料も亦從て低かつた。日本人が此の村に來住したのは約二十年前のことであるが、彼等の奮闘努力の結果、砂を化して黄金と爲し、今日は葡萄と莓の産出を以て有名となり、地價は騰貴し村は富んで全く面目を改めるやうになつた。然し勤勉なる日本人農夫の爲、追出された白人の小作人がある、日本人の競争の爲門前雀羅を張るやうになつた白人の小賣商人もある、彼等は猛然として排日を叫ぶやうになつた。米國で二百万の賣高ありと稱せられるコリアー週刊雜誌記者マクファアレンが日本人侵入の恐るべきを絶叫し、加州土地法の必要を辯護する爲、實例として舉げたのは此の村である。國務卿ブライアンが昨年土地法問題に關して、加州議會の反省を促す爲加州に赴いた時、土地法案贊成者が氏に立法の必要を覺らしめる爲、態々案内したのは同じく此の村である。ブラウン嬢の父



は二十英加許りの葡萄畑の地主で、收穫折半の約束で之を日本人に耕作せしめて居て、嬢が日本最負となつたのは根柢に利益問題があることは疑がないけれども、女子の身を以て而も痼疾ある身を以て、日本人は排斥どころでなく、加州農業上缺くべからざる者であることを論じ、或は雑誌に寄書し、或はパンフレットを出し、盛に活動して日本人の爲に萬丈の氣焔を吐いて居る。此の如きは之を現代の日本女子に望み難いは勿論のこと、有髯男子をして後へに瞠若たらしむるものがある。米國人が世間の毀譽褒貶を顧みず所信を斷行する勇氣のあることに就て、更に一つの例を舉げて見よう。前國務次官ルーミスは加州のマーセッドに八百英加の土地を所有して居るが、昨年土地法實施後日本人に此の土地を賣却したいと頻に買手を探して居た(勿論米國生れの日本人でなければ買入れることが出来ぬ)。若し我が國で斯んなことをしたら、敵の黨派は非國民として攻撃の槍玉に擧げるであらうが、流石に米國は大きいところがある、島國根性の日本人には到

底寄り附けぬ太つ腹のところがある。啓發運動は米國であればこそ實行の餘地があるのである。

啓發運動を盛にして多方面に味方を求めねばならぬが、先づ第一に米國婦人の間に味方を求めたい。加州を始め米國太平洋沿岸諸州では、女子は選舉權を享有して政治上一廉の勢力のあることを忘れてはならぬ。排日の主たる原因は民族的偏見であつて詰り感情に本くのであるから、感情に脆い女子の弱點に乗じ、之を説き附けて味方とするとは必ずしも不可能のことでない。此の運動は是非女子を以て其の局に當らしめねばならぬが、在米日本人中に其の人なきは如何にも残念である。米國の事情に通じ語學の堪能なる婦人を米國に送つて、其の局に當らしめたならば、必ずしも徒勞に歸することはあるまい。次に味方を見出したのは舊教の牧師である。排日問題を解決するには耶蘇教の力を籍らねばならぬと云ふ者がある、予は耶蘇教に斯くまでの信用を措かぬけれども、利用すべきものゝ一た



るを信じて疑はぬ。加州に於て勢力のあるのは舊教であつて、排日派は重に舊教徒であるが、日本人の耶蘇教を奉ずる者は之に反して殆ど全部新教である。舊教の牧師連は日本人は舊教に歸依するものでないことを見て、排日派に迎合し、四海同胞とか博愛平等などは棚に上げ、利益の命ずるところに従つて直接間接に排日の味方をなしつゝあるのである。斯かる次第であるから内地の新教関係者で、米國に赴いて日本人の爲に努力する者が幾人もあつて、其の勞は洵に感謝すべきであるけれども、今日までのところ殆ど效果の擧がらぬは遺憾千萬である。然しながら元是れ四海同胞の福音を宣傳するを天職とする人である、同じく神の子たる日本人を敵視する道理がない、舊教牧師が我れの味方とならぬは之を味方とするの策を講ぜぬからである。牧師を味方とするには是非先づ羅馬法王を味方とせねばならぬ。法王の舊教徒に對する勢力は我が國で眞宗の信徒に對する本願寺の法主以上である、法王の御聲が、りがあれば牧師連の態度は一變する

であらう。

米國に在ると内地に在るとを問はず、有識者が我れに同情する米國人の助力を得て、米國人一般の蒙を啓く運動に従事することは今日の急務である。然し在米日本人が米國人と没交渉の生活を爲し、排日派の云ふが如く日本人として入國し日本人として生活するならば、如何に汗水垂し聲を哽して啓發運動をしても、排日は何時になつても息む時がない。排日撲滅の爲在米日本人は、米國人の社會と融和し和合するの覺悟をせねばならぬ、其れには先づ第一に日米人の經濟關係を密接にすることが肝腎である。日本人が種々なる方面に於て、米國人と離るべからざる經濟上の關係を有するやうになれば、米國人は日本人を排斥したくとも排斥し得ぬであらう。昨年春の加州議會で、農業地賃借權存續期間を三ヶ年に喰止めることが出來たのは、米國人地主の運動與つて力ありと云ふことである。又同議會に出た排日的漁業法案を、加州モントレイ地方の米國人の盡力で揉消すこと



が出来たのは、此の地方の漁業の中堅となつて居る日本人が該法案の爲大  
打撃を破ることは、結局モントレイの繁榮に關係するところが大きいから、白  
人連が日本人の爲一肌脱いで呉れたからである。加奈陀で將來日本人漁  
夫に對して排日運動が起る時、之に對して日本人漁夫を擁護する者は、必ず  
罐詰會社に關係のある白人資本家連であらう。利害の密接は米國人をし  
て日本人の味方とならしめ、日本人の地位を安全にすること百の啓發運動  
よりも有力である。此の無言の啓發運動をするには、何よりも日本人の經  
濟上の實力の充實が肝腎である。然らば在米殊に加州在住日本人の現在  
の經濟上の地位は何うであらう。表面に現はるゝ彼等の地位は劈頭に説  
明した通りであるが、裏面の事情は何うであらう。

彼等の經營する商業及雜營業の大部分は殆んど白人と沒交渉で、所謂共  
喰をなしつゝある上に、他人が少しく利益を得ると見るや直ちに同様の營  
業を始め、競争の結果共倒れの危険の多いことは遺憾千萬である。例へば

桑港の日本人約七千人を相手として風呂屋が十七軒、食料品店が二十軒も  
あり、殊に約五千人の男子を相手として玉突場が二十五軒、理髮店が二十七  
軒もあるに至つては驚かざるを得ざる次第である。最近田舎から都會へ  
出て商賣を始める者が多いことは、一見日本人の發展のやうであるが、實は  
經濟上實力の減退である。此等の人々は多年勞働して多少貯金が出来妻  
君を迎へた結果、從來のやうに東奔西走職を求めて勞働することを厭い、知  
識も經驗もない不馴の商賣を始めるのであるから極めて危険である。剩  
さへ虚榮心に驅られて實力以上のことをするから、少數の貿易商を除く外  
其の基礎極めて脆弱、起きては倒れ、生れては滅ぶる有様、明治四十三年加州  
勞働局日本人調査報告に依れば、調査した日本人商店二千五百四十八につ  
き營業開始後の年數は、一年以下のものが總數の四割強を占め、十年以上の  
ものは僅かに二分三厘に過ぎぬ。桑港に於ては貿易商を除くの外大多數  
の商店は、明治三十九年大地震以後に出来たものであつて、信用のある店は



寥々たるものであるさうである。

農業の方面では日本人の農業地面積は非常の速度で増加して居るけれども、土地を所有する者は少く、而かもやつと近頃地主となつた者が多く、其の内幕は大概苦しいやうである。一體加州の農業の或るものは我が國の農業と大に事情が違つて居て、農産物の價格の變動頗る甚だしく相場的のものが多い。玉葱の如き一昨年は一袋五十錢位まで下落し、此の直段では市場に出しても掘賃と袋代がある許りであるから、畑で腐らして仕舞つて大損をした者があつたが、昨年は打つて變つて二圓以上に騰貴したから非常に利益を得たさうである。其の他馬鈴薯とかハツプスとか日本人の耕作する農産物で不安全のものが少くない。土地所有者も、借地者も其の生産する農産物の價格下落の爲、數年引續いて損害を被ることがあつても、之に堪へるだけの餘裕綽々たる資力を有つて居る者が乏しいから、日本人農業の將來は中々樂觀するを許さぬ。

基礎が鞏固でないにしても兎に角、加州在住日本人は商業、雜營業及農業等で一ヶ年に約一億圓の仕事をして居るに、金融機關の乏しいことは甚だしい缺點である。正金銀行の桑港支店の外に、プレスノとサクラメントに資本金十萬圓以下の小銀行が僅に二つあるだけであるから、日本人は金融組合を作つたり、頼母子講を作つたりして金融機關の缺乏を補ひ、農業家の如き白人銀行と取引を結んで居る者が間々あるけれども、多數は不利を忍んで仲買人から非常に高利の融通を受けねばならぬ境遇にある。昨年加州在住日本人が内地に落した金は約二千萬圓もあるのに、加州土地法實施前僅に三十萬圓の特別貸附を正金銀行から得る爲、大騒ぎをしたに徴しても、金融機關の如何に不備であるか、明かである。金融機關の不備は日本人の發展を妨げる一つの大原因であるから、何うかして此の缺陷を充したものである。要するに日本人は加州に於て發展したには相違ないけれども、成功者と認め得べき者は、誠に少數で、之を歐洲移民例へば以太利移民



に比較すると、残念ながら及ばざること遠しと云はねばならぬ。日本人は今日以上に勤勉節儉實力を涵養し經濟上抜くべからざる勢力を養はねばならぬ。曾てシヤトルで支那人の排斥を行はんとした時、支那人は其の對抗策としてシヤトル市内に投下して居た資金の回収を始め、此れが爲シヤトルの金融市場が混亂して、排斥運動は頓挫して仕舞つたことがある。此の例を見ても、日本人排斥が加州の經濟上に大なる影響を生ずるだけ、日本人が實力を有するやうになつたならば、如何に排日派が騒いでも我に一指を加ふることが出来ぬやうになるに相違ない。然し斯かる經濟上の大勢力は何時になつたら出来るであらう。前途は遼遠である。

次に望ましいことは日本人が進んで米國人に接近し、彼我相往來して意思の疏通と感情の融和を圖ることである。米國の真中で日本風を墨守し、日本人同志で交際し、米國人と隔離する生活をして居ては、日米人の間に毫も溫情がなく誤解が生じ易い。現在の日本人の生活状態では、排日の責は

日本人にもあると云はねばならぬ。在米日本人が一人々々米國人に接近して友人を作れば、其れだけ味方が出来る譯である。加州四萬の日本人男子が、一人で十人宛の米國人を親友とするならば、四十萬の味方が出来て、排日派も其の排斥を逞うするの餘地がない。是亦演壇や新聞雜誌上でする啓發運動に優ること萬々であるけれども、残念ながら言ふべくして容易に行ふべからざることである。第一に加州在住日本人の大多數は中等以上の米國人と對等の生活をして居らぬ。加州には人口二百五十萬に對して自動車約十三萬臺、即ち二十人につき一臺ある割合で我が國の人力車のやうなものであるに、桑港の日本人中自動車として有つて居る者が一人もない。總領事館にさへ一臺もなく、總領事殿は電車で往來せねばならぬ次第で情ないものである。尤も他國の領事にも随分徒歩の仲間があるけれども、其の國の在住者中自動車に乗る資格のある者が澤山あつて、領事は貧乏人の方であるから差支ないが、我が在住者中では領事が最上等の一人で、其



の人すら此の如し、白人の尊敬を得て之と對等の交際をすることは望み難いことである。更に語學の不十分な者が外國人と交際するとは樂みにあらずして苦しみである。琴や三味線を聞き馴れた日本人には、ピアノやヴァイオリンは欠伸の種となり、藝者の踊を有する國民には、男女相擁して跳廻る西洋の舞踏は何の興味もない。彼我の言語嗜好、娛樂の相違が現在の日本人をして外國人と親しく交際することを妨げることが、在米日本人の場合に限らぬ、彼等よりも教育の高い者の場合に於ても亦同様である。留學生や旅行者の歐米に於ける生活を見るに、多くは日本人同志相集り屢次牛鍋をつつき故郷戀しやの話に耽つて、歐米人と交際する者は極めて少い。在米日本人が米國人と盛に交際して、各自啓發運動をすることは極めて望ましいことであるけれども、彼等に望むべからざることである。

外的啓發運動は排斥の中心點たる加州は勿論のと、オレゴン、ワシントン州等太平洋沿岸諸州でも必要であるが、廣く米國全體でも(加奈陀でも)行は

ねばならぬ、此れが爲には餘程金が要る。一ヶ年に五十萬乃至百萬圓、先づ十年計畫で著手せねばならぬ。移民問題位に斯かる大金を消費することは馬鹿々々しいやうであるが、我が國の名譽の爲にも、加州在住日本人だけでも一ヶ年に二千萬圓も内地へ送金することを考へても、又移民問題の爲日米の國交不和となり海軍擴張の競争の爲、一ヶ年數千萬圓の大金を水中へ棄てるやうな馬鹿げたことをせねばならぬことを思へば、安價いものである。現在實行中の啓發運動は萬事箱庭式の日本人相當のもので、二階から目薬どころでなく摩天樓の頂上から目薬である。斯かる遣方をして一日でも安心する者があれば、馬鹿の骨頂である。若し夫れ三萬や五萬の端た金ならば、啓發運動は第二として試訴を起すが宜しい(但日本人の歸化權の有無に關する試訴だけは當分留保せねばならぬ)。試訴は必ずしも勝訴の見込があるのではないけれども、敗訴したからとて今日以上に日本人の地位が不利となるのではないから、萬一を僥倖してやつて見るのも一策で



ある。十分に資金を用意して啓發運動に著手すれば成功の見込があるであらうか。日獨戦争前までは十分大仕掛にすれば米國の輿論を改造し得る見込が幾分あつた。單に幾分といふのは、必ず成功する見込ありと斷言する勇氣がないからである。獨り黃白人間だけでない、言語、風俗、習慣を異にする者が相接觸する場合に、相互に強き増悪心の爲に驅られて融和し難く、反目軋轢することは、米國の白黒人は勿論のこと、獨逸帝國の獨逸人と波蘭人、澳地利内の獨逸人とツエツク人等の關係に徴しても明かである。米國人の日本人排斥は決して他に例のない現象ではない。米國人の日本人に對する偏見は、一面には彼我の交際、日米人の道德の進歩などに因て和々管であるけれども、同時に彼我の接觸に連れて、經濟上、社會上、政治上種々なる原因が偏見を刺戟し、益々之を激烈ならしめるに相違ない。啓發運動も有力なる排日派の新聞雜誌の記事の爲、三日温めて一日冷すやうなことになるらぬとも限らぬ。米國人の日本人に對する偏見を、近き將來に於て全然撲

滅することは到底望み得べからざることである。

過去に於て獨逸人は排日運動の有力なる一原動力であつて、明治三十九年加州に起つた排日の黒幕には、獨逸ありと傳へられる位である。在米獨逸人は日獨開戦後母國の官民と相應じ、新聞雜誌等を利用して米國人の排日感情を挑發すべく、系統的の運動を開始したやうである。米國人口の五分の一を占め、其の政治上、社會上、經濟上に非常なる勢力のある獨逸人の此の運動は、米國人の對日態度をして益々我に不利とならしめるのであらう。獨逸の敵は我が國許りでない、英吉利、佛蘭西、露西亞三國共に我が國以上の大敵であるにも拘はらず、特に我が國が獨逸人の陰謀術策の槍玉に擧り、非難攻撃の的となるのは、彼我の間に黃白人種の差があるからである。獨逸人の此の運動は獨り排日運動を一層激烈にする許りでなく、先年來日米兩國識者の憂慮する日米開戦の危険を増加した。日獨戦争前に於てすら餘り有望でなかつた啓發運動は、日獨開戦後愈望み少ななものとなつて仕舞



つた。然し多少たりとも米國人の蒙を啓く見込ある以上は是非試みるべきである、之を棄て、顧みぬことは問題の解決に向つて歩を進める所以でない。

啓發運動を十分實行することは在米日本人の力では及ばぬことで、内地人の助力を必要とする。米國の排日は其の影響世界的である、日本人海外發展の先鋒たる在米日本人を見殺にするは、結局世界に於ける日本人の將來を抛擲することになるのであるから、内地人は僅々十數萬の日本人に關する小事件として閉却することなく、奮つて彼等に後援を與へねばならぬ。今年春此の目的を有する一の會が澁澤男爵を中心として計畫されて居たが、其の後香として聞くところがない。健忘の爲か、將た又日獨戰爭に忙殺される爲か。在米日本人の運命甚だ危く、一刻の油斷も許さぬ今日、此の有様であるは遺憾千萬である。

### 第三節 墨西哥と我が移民

#### 第一款 海外發展の必要

桂第一次内閣第三次内閣及山本内閣の時に民衆の大示威運動があつた。年春は警察取締の行届いた爲か、左したる騒動を惹起さなかつたが、桂内閣の時は二回とも民衆はモツブに變じて、我が憲政史上に汚點を留めた。維新以來民心動搖の甚だしいことは屢次あつたけれども、未だ最近數年の如く甚だしいことはない。若し之を民衆が政治的に自覺した結果であるとすれば、我が立憲政治の進歩の一階段として兎も角賀すべきであるが、裏面を窺ふ時は慄然として恐れざるを得ざるものがある。現代の青年と老人との間には精神上大きな罅隙がある、青年は善いか悪いか、覺めたのか迷つて居るのか、兎も角新しい考へを有つて居る。老人は相變らず古い思想、古い道德、古い制度を以て青年に臨むけれども、老人に屬するあらゆるものは



青年に對して權威がない。青年は現在に不満足である、現在を呪咀して居る。彼等は未だ建設的に或る新しいものを以て舊いものに替へる準備をして居らぬけれども、現在の破壊を希望し期圖するのである。藩閥打破、學閥打破、老閥打破の聲は燎原の火の如く擴がつて、尾崎氏の憲政擁護論が到るところで歡迎され、氏が一時憲政の神として渴仰の中心となつたのは、此の時代精神と合致するからである。現在の青年の胸中に大不満があつて、機會さへあれば爆發しようとして居るが、政治上の大變動の如きは最も好い機會を之に與へるものであるから、一二有力者の煽動は忽ちにして大騒擾を惹起するに足り、立憲政治の將來の爲深く憂へねばならぬことである。青年に此の不満不平があり破壊的思想があつて、爾うして之を刺戟するに生活難がある。最近激烈となりつゝある社會一般の生活難は、青年に深刻なる刺戟を與へ、彼等の不平不満をして日一日激甚ならしめる。此の時に方り内務省が各地方に於て青年會を組織せしめ、時々所謂名士を招いて

懲の生えた道徳論や修養論を講釋せしめ、以て青年指導の能事了れりとする如きは殆ど噴飯に値するのである。各地方官が本縣下には幾つの青年會あり、會員一同勤勉節儉戊申詔書の御趣意を奉戴しつゝあり、講演會を開く何回成績頗る見るべきものありと、本省に紋切り形の報告をなしつゝある間に地方の民心は一日々々險惡となりつゝあるのである。教育の如きも形式は立派であるけれども實は全く混亂の狀態に陥つて居て、最近中學校にストライキが頻々として起るは由つて來るところが深い。經世家は斯かる子供だましのやうな官僚の爲すところに満足せず、活眼を開いて民心の趨くところを洞察し、一日も早く青年を善導して、國家隆昌の爲、立憲政治の圓滿なる發達の爲、拔本塞源の策を講ぜねばならぬ。今日の最大急務は海軍の擴張でない、師團の増設で無い、民衆にパンを與ふることである、生活難を拯ふことである。此れが爲には租税の減少、農工商業の發展等も必要であるが、予が此處で主張するのは移民の奨励である。



移民に關しては學者や政治家の間に色々な議論がある。移民は外國と事端を繁くするとか、健全なる労働者が多く出掛ければ國內の生産力を減じ、不健全なる労働者が出掛ければ母國の體面を汚す憂があるとか、熱帯地方であると民族が墮落するとか、何とか理窟を附けて移民に反對する者がある。けれども、我が國は斯様なことを言つて居られぬほど切迫した事情の下にあるのであるから、多少の不利があつても、何うしても盛に海外に移民するの道を講ぜねばならぬ。加州六萬の日本人が内地の人よりも立派に衣食し、爾うして昨年の如き一年間に内地に落した金が約二千萬圓、米國全土に在住する約十八萬の日本人の送金額は三千萬圓を超えて居る。

在米日本人が母國に向け送金した額は、桑港經由の分大正元年は千五百十九萬七千三百九十一圓、翌二年は増加して千六百四十八萬五千二百二十二圓である。シヤトル經由郵便爲替の分大正元年は二百九萬七千九百九十二圓、翌二年は二百十二萬九千八百二十圓であるから、大正二年

の總計は千八百六十一萬五千四十二圓である。其の他シヤトル方面の持歸金、布哇からの送金、並に外國銀行及東部からの送金が合計千五百萬圓位あるから、總金額は三千萬圓以上に達するであらう。今詳細の統計を左に掲げる。

△桑港經由の分

	大正元年	大正二年
桑港郵便送金	四、五七二、一三四	四、〇七二、一三〇
正金郷里送金	三、七七六、七七九	四、二四二、二六七
正金爲替送金	一、六五八、九二五	一、六六七、八八一
正金本店預金	四、四九一、八二六	五、七〇五、七九一
他の日本銀行爲替送金	一八七、五五六	一八〇、五五三
歸朝者携帶金見込	五、一〇、二〇〇	六、二六、六〇〇
合計	一五、一九七、三九一	二六、四八五、三三二

△シヤトル郵便局經由の分



大正元年

一一、〇九七、九九二

大正二年

一一、一二九、八二〇

尤も米國殊に加州は類ひ稀なる天の恩恵を享けたところであるから、在住日本人の例を以て直に他國へ出る移民を推すことは出来ぬとしても、今後五年間に百萬の移民、十年間に二百萬の移民を出したならば、幾分か内地の行詰つた事情を緩和することが出来るに相違ない。何うしても移民が救済策の一つである。ブラジルは勿論のこと、南米なり、中米なり、南洋なり、渾圓球上到るところ他國が其の門戸を閉鎖せざる限移民を出すべきである。殊に米國に比して左して遠からず、天與の富源は米國に及ばぬけれども、南米諸國に比較して遜色なく、而も非常に日本人の入國を歓迎する墨西哥の如きは、今後移民を送るべき最も適當なる國である。

### 第二款 墨西哥と排日問題

墨西哥の朝野は日本人に對して非常に好感情を抱いて、其の入國を歓迎しつゝあるのである。前假大統領ウエルタは予に對し日本移民の入國を希望する旨を告げた。昨年末答禮使として來朝したデラバラも、日本移民渡航の場合には相當の援助を與ふべきことを、我が實業界の有力者に約束したさうである。目下中原の鹿を争ひつゝあるカランサ、ヴィリア、諸將軍の日本人排斥は、米國仕込の訛傳であるやうである。墨西哥人は何故に日本人を歓迎するのであるか、其の理由三つある。第一は日墨人は其の皮膚の色、容貌等に於て酷だ似て居るから、墨西哥人は日本人と祖先を同ふすると云ふ傳説が信用せられ、日本人を以て兄弟分と考へる者が少くない、第二は墨西哥人は米國人に對して深い悪感情を有つて居るから、其の反動として米國人と抗争する日本人に對する同情が自然深い。又日露戦争で有色人たる日本人が白人に對して目覺しい勝利を占めたのを見て、日本人に對して深厚なる敬意を表し、非常に我が國との親善を希望するやうになつたの



である。此れ等感情上の原因許りでなく、第三に經濟上の原因がある。墨西哥八十萬方哩、我が國の約三倍の面積の地に住する人口僅に千五百萬、而も其の大多數を占める墨西哥土人は、智識の程度極めて低く、甚だしく懶惰で、極めて低級の労働者である。農業上の労働者としては、彼等は新式機械の使用を知らず、今尙先祖傳來の幼稚な耕作法をやつて居る有様であるから、農業労働者の缺乏甚だしく、此れが爲今日尙耕作されぬ土地が澤山ある。墨西哥は鑛物殊に銀の豊富を以て聞える國であるけれども、其の將來は鑛業に在らずして農業にある。或る學者が墨西哥の鑛山に投ぜられた資本を全部農業に投じて居たならば、墨西哥の國富は今日に比較して四倍になつて居るだらうと云つた位であるが、農業に必要な労働者が缺乏して居るから、之を海外に求めねばならぬ。米國が歐洲移民に開放せられる限、此の方面から労働者の供給を仰ぐことが六ヶ敷いから、熟練なる農業上の労働者として、評判の高い日本人を歓迎することは自然の勢である。以上三つ

の理由で日本移民は墨西哥で頗る歓迎されるから、我が國は之に乗じて彼地に多數の移民を送り、切迫したる人口問題の解決を圖るべきである。

我が國が移民會社の手で、初めて團體移民を墨西哥に送つたのは明治三十七年で、明治四十年二月に送つたのが團體移民の終りで、紳士的協約成立の時我が國は米國に對し其の隣國に移民を送るには相當の考量を用うべきことを約束した。蓋し墨西哥を踏臺として米國へ密入國をするやうな移民を、墨西哥に送らぬことを約束したのである。

墨西哥移民を語るものは必ず先づ榎本殖民地を聯想するであらう。後の墨西哥移民研究に志す者の參考に供する爲、本年一月桑港日米新聞所掲の「榎本殖民地の今昔」と題する記事を借用して左に掲げる。

榎本殖民地は *Colonia Propria Japonesa* と云ふのが本當の名稱であるが、故榎本武揚子の發意に依て出來たものであるから、世人は概ね之を榎本殖民地と呼で、今でも其の名の方が一般に通じがよい。明治二十七八年日



清戦争に捷てる我が國民は、盛に海外に發展するやうになつたが、榎本殖民地の如きも當時の氣運に促がされて出來たものである。始め此の殖民地を設計する時、根本正氏などが態々視察に行て、是なら大丈夫と云ふ報告をしたので、榎本子も乘氣になつたのであつた。墨國政府と契約したのは時の在墨西哥公使室田義文氏で、氏は榎本子を代表して明治三十年一月二十九日、墨西哥農商務殖民大臣マヌエル、フェルナンデス、レアル氏と左の契約書に手署した。(外務省通商局編纂移民調査報告第十二墨國チャバス州ソコムスコ郡日本人狀態視察報告附録參照。)

墨西哥國農商務殖民大臣マヌエル、フェルナンデス、レアル氏ハ墨國政府ヲ代表シ子爵榎本武揚氏ノ代理人室田義文氏トノ間ニチャバス州所在官有地ノ賣買及ヒコレニ殖民地ヲ設立スルノ件ニ關シ締結シタル契約

第一條 千八百八十三年十二月十五日發布ノ法律第二十八條ニ準據シ

榎本子爵ハチャバス州ニ殖民地ヲ設立スルコトヲ得

第二條 前條ノ規定ニ從ヒ墨國政府ハ第三者ニ對シ故障ヲ有セサルチャバス州ソコムスコ郡エスクイントラ所在ノ官有地ヲ子爵榎本武揚氏ニ賣渡シ後者ハ右ノ土地ヲ購入ス

第三條 前記ノ土地ニ於テハ殖民地ヲ設立スヘク代價ハ所在地地價ノ標準ニ從ツテ一ヘクタラニ付墨貨一弗五十五仙ノ割合トシ拂込期限ハ本契約締結ノ日ヨリ起算シ向フ十五ヶ年ノ年賦拂トシ其期日毎ニ墨國公債證書ヲ以テ之ヲ大藏省ニ納付スヘシ

購入者ハ本契約ニ定メタル期限前ト雖トモ便宜其代價ノ拂込ヲ爲スコトヲ得

第四條 購入地ノ地券ハ其代價ノ拂込ヲ終ル毎ニ農商務大臣ノ證明ヲ得テ其拂込地所ニ對スル地券ヲ交附スヘシ

購入者ノ義務



第五條 購入者ハ其買受ケタル土地ノ測量ヲ終ル毎ニ二千「ヘクタラ」ニ付小クトモ一家族ヲ移住セシムヘキ義務ヲ有ス  
右ノ移住民ハ日本人ニ限ル

第六條 本契約ニ於テ家族ト稱スルハ左ノ者ヲ云フ

第一、夫婦ニシテ子アル者又子ナキモノ

第二、父若シクハ母ニシテ其監督ヲ受クル一人又ハ數人ノ子孫アルモノ

第三、兄弟姉妹ニシテ其内一人ハ成年以上ノモノタルモノ

家族ノ移住トハ既ニ家屋ヲ建築シ土地ノ開墾ヲ始メタルモノヲ云フ

第七條 本契約成立後三ケ年間ニ十五戸ノ家族ヲ移住セシメ以後八年間ニ第五條ニ規定シタル割合ヲ以テ其土地全體ニ於ケル移住ヲ完成セシムヘシ

第八條 購入者ハ家族ヲ移住セシメタル時ハ其移住ノ時日ヲ記シタル證明書ヲ地方官若クハ政府カ特ニ命シタル代理人ヨリ申シ請ケ之ヲ以

テ家族ノ移住ヲ證明スヘシ

第九條 購入者ハ毎會計年度ノ終ニ於テ殖民地ニ於ケル事業ノ狀況ヲ墨國政府ニ報告スヘシ墨國政府ハ亦以上ノ規定ニ拘ラス何時タリトモ右報告ノ提出ヲ命スルコトアルヘシ

政府ハ必要ト認ムル場合ニ於テ殖民移住ノ實況視察ノ爲メ吏員ヲ派遣スルコトヲ得ヘシ

第十條 購入者ハ現行殖民條例第二十八條ニ從ヒ一家族ニツキ五「ヘクタレヤ」ノ割合ヲ以テ購入地所ヲ無代價ニテ讓與シ若クハ之ヲ賣渡スヘキ義務アルモノトス

第十一條 購入者移住者トノ契約ハ凡テ千八百八十三年十二月十五日發布ノ法令ニ從テ締結シ農商務省ノ認可ヲ受クヘシ

第十二條 購入者ハ本契約ニ關聯シテ起ル問題ニツキ墨國政府ノ協議ヲ遂ル爲メ適當ノ代理人ヲ墨府ニ在留セシムヘシ



第十三條 本契約ニ規定シタル家族ヲ移住セシメサル時ハ購入者ハ一  
家族ニツキ一百弗ノ科料ヲ公債證書ヲ以テ墨國大藏省ニ納付スヘシ  
第十四條 購入者ハ本契約第五條ニ規定シタル家族ヲ移住セシメタル  
後ハ其殘存地ノ一部若クハ全部ヲ賣却スルコトヲ得  
第十五條 購入者ハ如何ナル場合ニ於テモ本契約ニヨリ得タル權利ヲ  
外國政府ニ讓與シ若クハ質入スルヲ得ヌ又權利ニ依リ成立シタル會社  
ノ社員トシテ外國政府ヲ加入セシムルコトヲ得ヌ  
又豫メ墨國政府ノ認可ヲ經スシテ本契約ニヨリテ得タル權利ヲ一個人  
又ハ私設會社ニ讓渡シ若クハ質入スルヲ得ヌ但シ便宜上株券若クハ社  
債ヲ發行スルハ自由ナリトス  
第十六條 購入者ハ其殖民ヲ移住セシムルニ當リ豫メ彼等ニ對シ墨國  
現行法、歸化法及外國人取締法ヲ諭告スヘシ若シ此ノ諭告ヲ怠リ移住後  
殖民ニシテ是等ノ法規ニ牴觸スルモノアル時ハ購入者其責ニ任スヘシ

第十七條 本契約ノ保證トシテ購入者ハ契約締結ノ日ヨリ起算シ三ヶ  
月内ニ公債證書ヲ以テ壹千弗ヲ墨國々立銀行ニ納付スヘシ但シ此保證  
金ハ第二十六條ニ規定シタル本契約ノ消滅ト同時ニ沒收セララル、モノ  
トス

殖 民 者

第十八條 子爵榎本武揚氏ノ設計ニ係ル殖民地ニ移住スヘキモノハ凡  
テ現行殖民條例第五條及第六條ニ規定シタル資格ヲ備ヘタル者ニ限ル  
又彼等ハ墨國ニ移住スルト同時ニ凡テ墨國ノ法律ヲ遵守シ且ツ本契約  
ノ規定ニ從フヘシ  
購入者ノ使役ニ從事シ居ル者ハ殖民者ト看做スコトヲ得ヌ  
第十九條 殖民條例第十條ニ準據シ購入者ノ設計ニ係ル殖民地ニ移住  
スル者ハ其移住ノ日ヨリ起算シテ十ヶ年間左ノ特權ヲ享有スルコトヲ得  
第一、兵役ノ免除



第二、地方税及印紙税ヲ除ク外諸税ノ免除

第三、殖民地ニ要スル農具類器械建築用材料、既用ノ家具類、種用及労働用畜類ニ對スル輸入税並ニ内國税ノ免除

但シ此特權ハ他ニ讓渡スルコトヲ得ス

第四、殖民者ノ收穫物ニ對スル輸出税ノ免除、但シ此特權ハ他ニ讓渡スコトヲ得ス

第五、公共事業ニ對スル功績顯著ナル者ヲ顯賞シ及農工業上ノ新企圖ヲナシタルモノニ特別保護ヲ與フル事

第六、移住ノ目的ヲ以テ墨西哥へ來航スル者ニ對シ領事館ヨリ發給スル旅券ノ交附並ニ其查證ニ關スル手数料ヲ免除スルコト

第二十條 移住者ハ千八百八十三年十二月十五日發布ノ殖民條例ニ規定シタル前條ノ特權ヲ享有スルト共ニ墨國憲法ニ於テ墨國人及外國人ニ對シテ規定シタル權利ヲ有シ義務ヲ負フ訴訟ニ關シテハ其性質如何

ニ拘ラス凡テ墨國法廷ノ裁判ニ服シ其權利義務ハ法律上墨國人ノ享有スルモノト同等ナルヘシ

**購入者特權**

第二十一條 榎本子爵又ハ其設立ニ係ル會社若クハ其承繼人ハ本契約第七條ニ準據シ初メテ殖民者ヲ移住セシメタル日ヨリ起算シテ十五ケ年間ハ左ノ特權ヲ享有スルコトヲ得、但シ千八百八十三年十二月十五日發布ノ殖民條例第二十五條第五項ノ規定ハ茲ニ適用スルノ限ニアラス

第一、印紙税ヲ除クノ外殖民事業ニ使用スヘキ資本ニ對シテハ一切ノ課税ヲ免除ス

第二、少クトモ十家族以上ノ移住民ヲ當墨國內ニ搭載シ來ル船舶ニ對シテハ港灣改良税及水先案内料ノ外凡テ港税ヲ免除ス

第三、殖民地ニ於テ使用スル器具機械建築用材料労働用又ハ種用畜類ハ凡テ輸入税ヲ免除ス、但シ以上ノ物品ハ移住民自身ニ携帯セサル場合ニ



限ル

第二十二條 移住民ヲ移住地ニ送致スル一切ノ費用ハ購入者ノ負擔トス但政府ノ補助ヲ受クル汽船及鐵道ニ對シテハ政府ト該會社トノ契約ニ規定シタル同一ノ割合ヲ以テ之ヲ使用スルコトヲ得此ノ割合ヲ得ルニハ其都度農商務省ニ出頭スヘシ

一 一般處分法

第二十三條 本契約第十九條及第二十一條ニ掲ケタル特權ハ千八百八十九年七月十七日並ニ千八百九十三年六月九日發布ノ法令ニ從ツテ享有スヘシ尤モ殖民ヲ移住セシメタル後ニアラサレハ購入者ハ此特權ヲ享受スルコトヲ得サルヘシ

第二十四條 榎本子爵ハ其設立ニ係ル會社若シクハ其承繼者カ外國人タルト否トヲ問ハス凡テ本契約ノ定ムル所ニ從ヒ墨國人タル資格ヲ以テ取扱ハルヘシ而シテ墨國內ニ起リタル事件ハ凡テ墨國裁判權ニ依テ

裁判セララルヘシ

故ニ本契約ニ關スル事件ハ其性質ノ如何ニ拘ラス唯墨國法律カ其國人ニ附與シタル權利ノ外ハ外國人タルノ權利ヲ用ユルコトヲ許サス隨テ該事件ニ關シ外國交際官之ニ干涉スルコトヲ得ス

第二十五條 榎本子爵ハ本契約ノ規定ニ從ヒ移住セシムヘキ殖民者ノ爲メニ如何ナル場合ト雖トモ墨國政府ニ對シ保證金若クハ土地ト賞與ヲ要求スルコトヲ得ス

第二十六條 本契約ハ左ノ場合ニ於テ消滅スルモノトス

第一、本契約第十七條ニ規定シタル保證金ヲ其期限内ニ納付セサル時

第二、本契約第三條ニ規定シタル年賦拂込ヲナササル時

第三、本契約第七條ニ規定シタル家族ヲ移住セシメサル場合

第四、本契約第十條ニ規定シタル義務ヲ果ササル場合

第五、購入者ノ使役ニ從事スルモノヲ移住民ト看做ス時



第六、本契約ニ規定シタル殖民者以外ノ國民ヲ移住セシメタル時  
第七、豫メ墨國政府ノ許可ヲ經スシテ本契約ノ權利ヲ會社若シクハ一個  
人ニ讓渡シタル時

第八、本契約ニ規定シタル權利ヲ外國政府ニ讓リ渡シ若シクハ質入レシ  
又ハ外國政府ヲ其設立シタル會社ノ組合員トナシタル時

第二十七條 前條第二項ノ理由ニヨリ本契約カ消滅シタル場合ニハ購  
入者ハ其保證金ヲ失フト同時ニ代金未拂ノ土地ハ再ヒ墨國々有地ニ編  
入セラルヘシ

第二十八條 第二十六條第三項ノ理由ニヨリ本契約カ消滅シタル場合  
ニハ購入者ハ其保證金ヲ失フヘシ

但シ其代金ヲ支拂ヒタル土地ニ關シテハ適宜處分スルコトヲ得

第二十九條 第二十六條第四、第五、第六及第七項ノ理由ニヨリ本契約消  
滅シタル場合ニハ購入者ハ保證金ヲ失フヘシ

第三十條 第二十六條第八(?)項ニ牴觸シテ本契約カ消滅シタル場合ニ  
ハ本契約全部ノ外其保證金及既得財産ノ權利並ニ企圖セル工事ノ權利  
ヲモ併セテ失フモノトス

第三十一條 凡テ本契約カ消滅シタル場合ト雖トモ既ニ移住シテ第十  
九條ニ規定シタル特權ヲ有シ又其買得ニ係リ或無償讓渡ヲ受ケタル土  
地及財産ニ對シテハ有所權ヲ保持スル事ヲ得

第三十二條 非常ノ變災ニ遭遇シテ本契約所定ノ期限内ニ購入者カ果  
スヘキ義務ヲ終ヘサル場合ニハ農商務省ノ承認ヲ得テ之ヲ中止スルコ  
トヲ得

但本條義務ノ中止ハ非常事變ノ經過後二ヶ月ヲ以テ期限トス

第三十三條 本契約ノ有効期限ハ其成立ノ日ヨリ起算シテ向フ十五ヶ  
年間トス

墨府ニ於テ



明治三十年一月二十九日

「エム、フォルナンデス、レアル」手署

室 田 義 文 手 署

右の契約書中にもある如く、榎本殖民地はチャバス州内にあるが更に之を詳説すれば、同州の南端にして西は太平洋に臨み南は中米グアテマラに接するソコムスコ郡にあるのである。今試に東洋汽船會社南米航路の寄港地である墨國サリナクルースから、テアンペック鐵道に塔じて東進する時は、十二哩にしてガムボア驛に達する、此驛はテアンテペック鐵道と全米鐵道との聯絡點であつて、全米鐵道は此の地を起點として太平洋に併行し、ワハカ州の一部とチャバス州とを貫通して中米グワテマラ國々境に達するのであるが、榎本殖民地のあるソコムスコ郡はガムボア驛から此の鐵道に依て南下八十哩の地點にあるのである。即ち日本汽船の寄港地サリナクルースから鐵路九十二哩、又墨國首府からは鐵路

二百七十三哩を隔て居るのである。榎本子が此の殖民地を設立した時分には、日本船の寄港もなければ、又鐵道もなかつたのであるが、今は墨國の南端とは云ひながら大分便利の地となつて居る。而して榎本殖民地は此のソコムスコ郡中エスクイントラ、プロバ一の北方シーラマドレ山内に位し、六萬三千九百二十六町歩の面積を有して居る。此の邊の氣候は地勢に伴うて自ら差異があるが、郡の首府たるタバチユラ市では攝氏二十五度から三十度位の間で、段々山に入るに従て熱さを減じ、榎本殖民地所在地は、日本人が生活することが出來ぬ程熱いところではない。現に百名に垂んとする日本人が此邊に永住の基礎を固めて、着々成功しつつあるに徴しても之を知ることが出来る。然るに世人の知る如く榎本殖民地は全く失敗に終つた、夫れは何の爲めであらうか。先づ事情不通が其の最大原因を爲して居るやうである。最初殖民地を設計する時に行つた根本正氏の如きは、農業に關する専門の智識を有つて居る者でな



いから仕方がないとして、特に派遣された技師でさへ珈琲栽培に適當な土地であるなどと嘘八百の報告をしたさうである。そこで榎本子は此の殖民地を珈琲栽培地とする積りで、明治三十年第一回目に二十六名許りの殖民者を送つたのであるが、其の監督者が薩張り地方の事情に通ぜぬ許りでなく、又言葉も解らぬ。當時此等の人々と一緒に來た照井亮次郎氏の話に依れば、當時は今日のやうに汽車の便がなかつたから、一行はサリナクルース港からソコス郡サンベニト港まで船で渡り、夫れから郡首府のタバチュラ市まで徒歩で行き、更に十九哩許りを歩かされたが、何處へ行つたら水が飲めるのだから、何處へ行つたら物が食べられるのだから、一向見當がついて居らなかつた位だから、始の日の旅行に早や歩行の叶はぬ人を出した程であつたさうである。斯やうなことでは到底殖民者が監督者の言ふことに服する譯がない、殖民地に一同が到着すると早や行動の一致を缺くやうになつたらしい。其の次の理由は仕事を知

らぬ者許り集めて來たことである。勿論殖民者の中には百姓働きを爲馴れた者が多かつたが、此の殖民地でする仕事は米を作つたり麥を作つたりするのではない。日本では未だ木に實るのか草に實るのか、形さへ見たことのない珈琲を栽培するのであるから、勿論單純なる労働者之を知つて居る筈がない。監督と稱する支配人も亦珈琲栽培に關して何等の智識を有つて居らぬ、此地へ著いてから初めて珈琲はどんな處へどんな風に作るものだらうと土人に聽て歩く騒ぎであつた。段々聽いて見た結果、此の殖民地に珈琲を栽培し得る土地がないといふことに極まつて仕舞つた。左様斯様して居るうちに金がなくなつたので、此儘では仕方がないから誰か日本へ歸つて事情を報告し更に資本を携へて來るか、又は全く放擲して仕舞ふか、親しく榎本子に其意見を聽いて來ることとなつた。照井氏が其の任に當て歸朝したのであつたが、此時榎本子は既に農商務大臣を退いた後で、今まで子を助けて事業を遣らうとして居



た連中も、稍々出資を溢るやうになつた爲めであらう、榎本子も此の事業に對して頗る冷淡となつて、終に今日の状態になつて仕舞つたのである。若し榎本子にして起業の始めに充分なる調査を爲し、又事業の繼續に充分の投資を惜まなかつたならば、今頃は屹度十分成功をして居たであらうに、惜哉終に失敗を見るに至つたのである。榎本子の經營した殖民地の事業は右様の次第で失敗に終つたが、墨國政府と契約した土地は折角色々の特權を得て居ることであるから、之を放擲するのも惜いものだと云ふことで、墨國人某が其の大部分即ち四萬四千六百十二町歩を引受け、又た滋賀縣の前代議士藤野辰次郎氏が一萬三千五百二十六町歩を讓受け、殘餘は墨京に在住する小林直太郎氏の手に歸した。此等の地所は榎本子の代理人室田義文氏が墨國農商務大臣と取結んだ土地購入契約の満期となつた後、明治四十五年一月三十日を以て各當事者の所有と確定したのである。右藤野氏の殖民地は今日布施常松氏が之を管理して居

るが、同氏は其の妻女及一人の日本人助手と共に、其の使役する數人の土人家族と同棲し、又た毎日二三十人の土人を雇使して居る。去る明治三十四年十二月此の殖民地に來てから今日まで引續き開拓に従事して居るが、既に耕耘を施した面積は七十餘町歩で、専ら護謨を栽培し、副業として玉蜀黍を耕作し、近所の市場又は他の珈琲園に賣拂つて居る。其の他百二十餘町歩の牧草地に牛三百頭を放養して居る。日墨協働會社は藤野氏から四十七町歩を買入れて之に甘蔗を栽培し、小林氏から百二十四町歩を買受けて之を牧場として居る。玉川氏は二十八町歩を小林氏から買受けて野菜園を起し、田邊氏は二十四町歩を矢張小林氏から買受けて之に甘蔗を作り、酒精の釀造に従事して居る。此等は皆な榎本殖民地と稱せられたところに現存する日本人の農業である。此の如き状態であるから、榎本子經營の事業は全然失敗に終つた。然しながら榎本子が此地に向て大和民族の發展を試みると期せられた其の志は、無意味に消



滅したものでない。今日此の地方に約百名の日本人が在住し、中には數十萬の資産を贏ち得た成功者もあるから、榎本子の失ふたところを補ひ得て餘りあるであらう。榎本子の計畫は子の懐勘定に於ては確かに損失であつたけれども、民族發展の上から見れば決して損失でなかつた。

最近の調査に依れば墨西哥在住の日本人總數は二千七百三十七人で、内男二千五百七十二人、女六百六十五人、其の内で重なるは礦山工夫の約八百五十人、家内労働者の約三百人、農業労働者の約二百五十人、労働人足の約二百人等である。此等少數の日本人が我が國の約三倍の面積のところに散在するのであるから、墨西哥に於ける日本人の地位は決して重要なものではないが、其の内で最も成功して居るのは、チャバス州ソコムスコ郡の日本人である。此の郡の在住日本人は其の數六十八人に過ぎぬけれども、經濟上中々の勢力があつて、エスクイントラ村は實に日本人殖民地の中心として知られて居る。此の地方否墨西哥に於ける成功者は

小橋岸本合名會社及日墨協働會社で、小橋岸本合名會社は資産の點に於て日墨協働會社に優ると云ふ評判がある。左に予が墨西哥滞在中、日墨協働會社理事照井氏から同會社の現狀に就て聞いたところと、外務省通商局編纂移民調査報告第十二墨西哥チャバス州ソコムスコ郡日本人狀態視察報告とに依て、簡単に日墨協働會社の現狀を述べやう。

日墨協働會社は本名は *Compania Japonesa Mexicana, Sociedad Cooperativa* と稱し、墨西哥國法に依て組織せられた法人である。理事照井氏を始め社員數名は榎本殖民地の殘黨であつて、同殖民地没落後此地に蹈留まり、辛苦困難を極めた後前途の光明を認める様になり、其内に他の人々も知つて今日の會社を組織する様になつたので、現在の社員は十三人である。此會社は一種の面白い組織になつて居るから、定款の大意を左に掲げる。

▲會社は理事之を主管す理事は選舉に依る▲社員は創立者及總會の承認を経て入社を許可せられたる者たるを要す▲社員は自己に屬す



一切の財産を會社に提供して別に私有財産を貯ふることを得ず但其の提供したる出資額に對しては株券を分配す▲株券は一定の利子を得るの外配當の標準となるものにあらず▲社員及其の家族の生活費は會社に於て全部之を負擔す但家族は會社の命ずるところにより其の事務を執るの義務あるものものとす▲凡て會社の純益は社員の間にて百分比例を以て配當率を投票し其の結果に依り配當す▲社員は自由に退社することを得但其の出資及財産は十ヶ年賦にて拂戻を受くるものとす會社は其の拂戻金に對し六分の利子を附す▲定款には配當額を純益金の一割とすとあれども實際餘り多額に過ぐるを以て總會の結果該率以下を配當す▲配當金は現金を以てせず之を株金として會社に預託す▲社員は私用金として其全所有金の百分の十以上を消費することを得ず▲定款の改正は社員總數百分の八十以上の同意を得ることを要す▲社員總會に關することは墨國株式會社に

關する法律の規定に準據す。

社員は私有財産を貯ふることを得ずとか、社員及其の家族の生活費は全部會社に於て負擔するとか、色々面白い規約がある。何時まで引續いて實行されるか一の疑問であるが、兎に角一種の共產主義が山海萬里を隔てた墨西哥で、日本人に依て實行されて居るのは珍重すべきことである。此の會社は商業と農業とに従事して居る。商業はエスクイントラ村、アカコニヤグア村、アカベタグア村、ウイストラ町、タバチユラ市等に本店、支店を有つて、雜貨、賣藥、食料品等を販賣して居る。農業部は四十七町歩のタフコ農場、七百三十一町歩のロシア耕地及百二十四町歩のメモリア耕地を所有し、主として甘蔗を栽培して酒精を釀造するの外、野菜果實の栽培と牧畜に従事して居る。

社員中妻帯して居る者があるが、妻君は皆土人である。其の間に生れた兒童の教育の爲、特に小學校を建設して、日本から教師を招聘し、内地小



學校の課程の外、西班牙語を教授して居る。日本語の教科書は羅馬字で綴つたものであるが、兒童は皆能く日本語を解するさうである。

米國が斯かる約束を我に求め、我が國が之を承諾したのは故あることで、是より先明治三十三年以來、我が國は米國大陸行の移民に頗る制限を加へることになつたが、何うかして行きたいと苦心する者が少くなかつた。我が移民會社は之を見て奇貨措くべしとし、墨西哥行の移民を募集する時に、墨西哥は米國行の好い足場であると吹聴して盛に移民を誘惑したから、當時の墨西哥行移民は米國行が眞の目的で、渡墨後密入國を企てた者が多かつた。米國が之を取締るのに苦んだ結果上記の要求をしたのであつて、墨西哥渡航が非常に困難になつたことは、移民會社が大に其の責を負はねばならぬのである。

協約成立以後我が國が協約を遵守することは誠實以上で、墨西哥に關して米國を憚ることは極端である。明治四十三年東洋汽船會社の關係者が、

墨西哥人の日本觀光團組織を目論見、外務省の意嚮を尋ねたところ、外務省は墨西哥人が來朝しても一切構はぬことを言明して、不賛成の態度を示したから中止となつたことがある。殆ど同時に墨西哥の陸軍の學校で、我が柔道家を雇入れやうとして外務省に人選を依頼したけれども、之に應じなかつたことがある。此の如く我が國は墨西哥に關して甚だしく恐米病に罹り、病殆んど膏盲に入つて居るから、墨西哥に相當の見込を立て、眞面目に彼の地に赴いて仕事をしやうとする者があつても、中々旅券を發給せぬ。米國に對する遠慮の爲、墨西哥移民は殆ど全く中止の状態である。然し米國のやうな我儘勝手の國に對しては遠慮は禁物である、遠慮し控目にすればする程附け上つて飽くことを知らぬ國であるから、之に對しては思ひ切つて横着に大膽に行動することが必要である。惟ふに日米問題を解決するに方り米國の好意に信頼するのは一つの方法である。米國に信頼するに足るだけの好意があるならば、之を怒らし其の感情を害するの虞ある墨



西哥移民の如きは努めて避けねばならぬが、米國政府に全然好意がない。好意があるにしても輿論の嚮ふところに逆行することは出来ぬ。米國の好意に信賴する能はざる以上、従來のやうに萬事遠慮勝では甚だしく不利であるから、約束に違背せざる限無遠慮に無頓着に、我が國の利益となることを斷然實行すべきである。墨西哥を踏臺として米國に密入國を企てる嫌疑のない者ならば、どしどし渡墨を許して然るべく、北部には今日のところ實際移民を送ることは出来ぬけれども、争亂平定次第其の工夫を爲すべきである。尤も現在の争亂は平定しても、墨西哥のことであるから續いて又新なる革命が起るであらう、起るならば必ず北部に起るべく、此の地方は引續いて兵革の巷となり移民を送ることは近き將來に於て實行し難いであらう。けれども、兎に角此の地方に移民を出す自由が我にあることを、米國に示して置くことを忘れてはならぬ。

予が墨西哥移民を主張するのは、獨り我が國の人口問題解決の爲だけで

ない、之を排日問題の解決に利用せんことを欲するからである。排日問題解決の唯一の方法と看做される啓發運動は、前述の如く見込のあるものでなく、是だけで此の難問題を解決しようとするは、木に縁て魚を求めらるやうなものである。爾うして現内閣は此の問題の解決は時の力を俟つの外なしとし、英米間に數世紀間懸案となつて居たニューファウンドランド漁業問題の例を擧げて、氣永に根本的解決の手段を講ずる旨を公言して居るが、是は結局無策を自白する者である。在米日本人没落の危機は、百年の猶豫は勿論のこと十年の猶豫すらも許さぬ程切迫して居る。是に於て予は至急排日問題を解決する爲、日米外交上の掛引に墨西哥少なくとも墨西哥移民を利用することを主張したい。米國を苦しめるには墨西哥を利用するに限る。我が國にモンロー主義を尊敬するの義務がないのは勿論のこと、今後膠州灣問題に關して米國の出方次第では、我が國は高平、ルート協約を楯として、太平洋沿岸にある中米、南米諸國に關し、米國の行動に容喙するの權



利あることを主張することが出来る。墨西哥を利用することは排日問題の解決の一策であるけれども、米國人の我が國に對する反感を甚だしくする虞があるから、寧ろ移民問題を利用して排日問題に關する日米妥協の道を、此の間に發見することが、策の得たるものである。米國に對して歸化權を與へよ、土地所有權及借地權の保障を與へよと要求しても、現在のところでは米國をして之を承諾せしめるだけの報酬がないから無理な注文である。此の種の要求を貫かうとするには、相當の報酬を準備せねばならぬ。我が國から墨西哥へ移民を送ることは、約束に違反せざる範圍内に於てすると否とを問はず、米國の甚だ憚ばざるところである。殊に墨西哥の北部に我が移民を入れることは、米國が將來墨西哥に對する野心を遂行する上に大なる不便があるから、反對するのは必定で、米國に對する我が要求は、此の時に於て初めて有效なる報酬を準備し得たのである。墨西哥の北部よりも中部以南が日本人將來の發展に適當であるから、我が移民は之を中部

以南に送つて北部には送らぬことを、交換條件として米國に蒞めば、米國は我が要求に應ずるに吝でなからう。僅々十數萬の在米日本人を救ふ爲、斯かる大なる報酬を與へることは果して我が國の利益であらうか、異論を挾むの餘地が十分ある。然しながら米國に於て日本人が築き上げた現在の地位は、中々容易に出来るものでない。之を全く破壊されて米國を引上げねばならぬことになつては、大損害である許りでなく、世界に於ける日本人の將來に大關係のあることである。墨國北部移民の自由を棄てる位で、米國に於ける日本人の現在の地位を維持することが出来るならば、計算上大なる利益があると云はねばならぬ。墨西哥移民と交換的に要求すべきは、歸化權の取得か、條約に依る日本人の不動産上の權利の保障であるが、歸化權の取得は國家の體面上要望すべき性質のものでないと云ふ論がある。成程常道でない。然し米國の排日其のものが變態である以上、我が國も亦變態の步調を執る必要に迫られて居るのである。在米日本人の爲、日米平



和の爲、我が政府の奮發を希望する次第である。

### 第三款 墨西哥調査會の必要

人口問題及排日問題解決の爲、墨西哥移民は目下の急務であるが、然らば我が移民の需用は如何なる方面にあるかと云ふに、第一は農業である。労働者許りでなく地主としても發展の餘地がある。第二は鑛山であつて既に幾多日本人の労働して居る者がある。鑛山主は日本人労働者が土人に比較して頗る優るところあるを見て、頻りに日本人を歓迎するやうであるが、明治四十年以後は新に渡航する者がないから、需用に應ずる能はざる有様である。墨西哥は同時に資本投下の場所として大なる將來がある。如何なる方面に資本を投下すべきかと云ふに、第一が土地である。墨西哥は過去に於て土地の兼併盛に行はれた結果、今日其の農業地の大部分は極めて少數なる地主の所有に歸し、我が國では殆ど想像が出来ぬ程の大地主が

ある。例へば墨西哥第一の地主はチワ、州のルイス・テラサスで、彼の所有地は實に千三百万英加我が一町歩は二英加半に上るさうである。前大統領マデロ一族の所有地も七百万英加もあるさうである。先年或る日本人が墨西哥内地旅行の時、汽車中風采の一向揚がらぬ老人が隣の席に居た。段々話の進むにつれて、此の老人は地主であることが分つたから、何れ程地面を有つて居るかと聞いても極り悪さうな顔をして話さぬ。問詰めた揚句老人はお恥しいが僅か二萬ヘクタラ（一ヘクタラは約我一町）しか有つて居りませぬと答へたさうで、此の話でも如何に墨西哥の地主が大きいかを推知することが出来る。

最近の統計に依れば墨西哥の土地は左の如く分配所有されて居る。

一萬一千の莊園

八八〇、〇〇〇吉羅米平方

十八の大土地會社

八〇、〇〇〇

小土地會社

一二〇、〇〇〇



市町村

一二〇、〇〇〇

小地主

四〇〇、〇〇〇

國有

二〇〇、〇〇〇

此の統計に依て墨西哥の土地の大部分が少數の大地主の手にあることが明である。

然るところ或は労働者の缺乏やら、或は引續いての革命の爲生命財産の不安があるやらで、所有地を賣つて外國に轉住する者が少くないから、今日幾つも廉い賣物があつて、其の直段は大抵一英加四五圓である。参考の爲國有地拂下の直段を見るに、最も直段の高いメキシコ市附近の土地で我が一町歩が約百五十圓、廉いので六圓、最も下等な下カルホルニヤ地方の土地が三圓位である。廉い土地を今日買入れて置くことは確實な投資の方法であると考へる。

墨西哥で最も日本人に適する事業は農業であるが、大資本が必要である。

土地は多く大地主の所有で加州のやうに五英加や十英加の土地を切賣する者が極めて少く、よしあつても小仕掛では成功の見込が殆んどない。是れ加州と大に事情を異にするところである。蓋し墨西哥は場所に依ては甚だ水が乏しく之を得るに多額の金を要するの外、人口は稀薄で地方市場が乏しいから産物を遠方に送らねばならず、交通機關は非常に不完全で産出額が少なくて到底も引合はぬから、結局大規模大資本で經營せねばならぬ。加州のやうに初め労働者として働き、資本を貯蓄して農業家となるが如きは殆んど不可能である。

米國人中墨西哥殊に其の北部に於て、廣大なる土地を有つて居る者が少くない、新聞王ハーストの如き其の一人である。此等土地の投資家は他日墨西哥が米國に併合少くも其の實權の下に立つやうになれば、地價が非常に騰貴することあるを豫期して、大きな土地を耕作もせず、所有して居る。米國で墨西哥干渉論が屢次行はれるのは、此等の連中を始め一般米國の墨



西哥投資家が常に黒幕に在つてする仕事である。斯かる事情であるから我が國の資本家が今の内に墨西哥の土地に投資して置けば、近き將來に於て大なる利益を得るの目があるに相違ない。尤も支那にさへ投資する勇氣と實力の乏しい我が資本家に對し、遙々墨西哥に投資すべく勧誘するとは、或は無理の注文であるかも知れぬ。然し墨西哥の地主と共同し我は流動資本と労働者を供給する位でやれば大した資本は必要でない。國內不安の今日が仕事の爲時である、一冒險やつて見る資本家がないであらうか。鑛山に對しても亦我が資本家の活躍する餘地がある。銀山は十六世紀に西班牙人が著手する以前から土人の採掘した者が少くない。交通機關を利用し得る場所にある目星しいものは、既に手が着いて居るけれども、尙遺利少くないさうである。其の他石油も金もある。要するに労働者から見ても、資本家から見ても、墨西哥は日本人が將來發展すべき新天地である。更に日墨の貿易關係を見るに、貿易總額は一ヶ年僅々五十萬圓に過ぎ

ぬ。墨國人の大多數は極めて貧乏な需用の少い下等社會であるけれども、日墨貿易發達の餘地のあることは疑がない。

墨西哥事情は今日のところ我が國に全く知れて居らぬ、斯かる事情の下に無暗に移民を出しては棄民となる危険がある。資本家は如何に投資する志と資力があつても、投資の方法を誤つては大變である。商業家は如何に日墨貿易に従事したくとも其の方法に迷ふであらう。何事をなすにつけても、墨西哥の經濟事情を審かにしての後のことである。墨西哥に移民を出す爲にも、資本家や商業家が仕事をする爲にも、今日の急務は墨西哥に關する智識を得ることであつて、此れが爲至急墨西哥調査會設立の必要がある。墨西哥全國を幾部かに分ち、各部に經濟の智識ある者と西班牙語の通辯の二人を以て一組とし、一ヶ年の見込で調査員を派遣すれば、一組二人の給料雜費一ヶ年約一萬圓、五組として僅か五萬圓で足るから、墨西哥に志ある者が費用を分擔すれば六ヶしいことでない。加州在住日本人中に墨



西哥に注意する者があつて、昨年未彼等の間に墨西哥調査會組織の計畫があつたけれども、資力不十分の人々の仕事であるから確なものはお出来まい。是に於て予は墨西哥調査會の設立に就き、内地有力者の奮發を促したいのである。

#### 第四款 生存の權利

予が九年前歐洲から歸朝した時、日本人が色が蒼ざめて活氣がなく、神經過敏らしいに驚いた。三年前に朝鮮支那を漫遊して歸朝した時に再び驚いた。今年春米墨旅行から歸つた時に三度驚いた。日本人は白人や支那人に比較して活氣が乏しい許りでない、米國は勿論のこと滿洲朝鮮に在住する日本人にも劣るやうである。内地到るところで聞くは不景氣の愁嘆話である、就職難の嘆息である、喰べるに困ると云ふ情ない呻き聲である、是で一等國民とは何處を押したら出る音であらう。生活難が此の如く甚だ

しくては政治上、社會上大なる危險がある、經世家は是非とも日本人を生活難から救ひ出すことを圖らねばならぬ。其れには色々の方法があるけれども、移民を盛にして新天地を開拓することが其の一つである。然るに濠州や南亞弗利加は日本人に對して其の門戸を閉鎖して仕舞つた。米國も亦然り、其の影響を受けて加奈陀も今日殆んど閉鎖の有様で、南米でも已に排日論が起つて居る。若し米國の排日を防止することが出来ぬならば、他日南米諸國の我に對する態度も甚だしく不利になるであらう。日本人は八方塞がりになる。どうかして一日も早く米國の排日問題を我れに有利に解決したいものである。米國在住日本人の爲に、廣く世界に於ける日本人の爲に。

白人は餘りに我儘横暴である。彼等は四世紀前から歐洲外の膨脹發展に着手し、先づ亞米利加、濠洲、亞弗利加の主人となり、亞細亞も今日は半ば彼等に征服されて、獨立を維持して居るのは我が國の外に支那と暹羅がある



だけである。彼等と人種を同らせざる者は多くは彼等の足下に蹂躪せられ、甚だ可憐な状態に陥つて居る。彼等は今日世界の十分の九を領有するに反し、黄人は僅かに十分の一を領有するに過ぎぬ。白人は斯く廣大なる地域を有するにも拘はらず、黄人をして平和的に進入することすら禁じて、之を世界の一角に屏息せしめ様として居る。米國の如き今日耕作して居るのは耕作し得る土地の二割七分で、残りの七割三分は非常な天賦の富を藏し、人を容れる餘地が未だ幾らでもある。然るに已に日本人の入國に反對するのである。加奈陀でも爾うである。亞弗利加及濠洲でも爾うである。水に溺れる者がある。四邊を見廻すと同じく水中にあつて板子を抱へて居る者がある、彼の板子を奪へば我は助かるけれども、彼は生命を失ふであらう。之を奪はねば彼は助かるけれども、我は生命を失ふであらう。此場合に板子を奪ふことは道徳は許さぬとしても、生存の権利は之を許すのである。國家間に於ても亦同様である。我が國の人口は約六千萬、人口の

密度は内地では一方里二千二百八人の割合で、白耳義、和蘭、英本國を除いては我が國程人口の稠密なところはない。然るに耕地は瘠せて狭く、關西地方の如き山の頂上まで耕作されて殆ど剩す土地がない。現在の事情では商業工業大發展の見込みもない。海外に新天地を開拓するにあらざれば、今後無限に増加する人口を何時までも收容することが出来ぬ。日本人は恰も水に溺れる者のやうである。白人が日本人に對する現在の態度を改めざる以上、日本人は將來其の生存に必要な土地を得る爲、白人に對してあらゆる手段を講ぜざるを得ざる時が到來するであらう。白人の態度如何によりては、據るなく生存の権利を主張せざるを得ざるの日に逢着するであらう。



北米の日本人 終

大正四年二月五日印刷  
大正四年二月十日發行

北米の日本人

定價金壹圓貳拾錢

著者 末廣重雄

發行者 宮下軍平

印刷者 細萱武四郎

印刷所 東洋印刷株式會社



發行元

東京市神田區錦町一丁目十六番地  
振替口座東京第三四〇九番

一松堂書店

電話本局三七一七番







學校應用書 勝部 元先生實驗の新著

### 實驗より化學工業書の新著法

中判上製紙函入  
全一冊  
定價金一圓十錢  
小包送料金八錢

國産を奨勵せよ・内國品を使用せよ・輸入品を防遏せよ

此意味に於て著者は多年研究に研究を重ね五百有餘種の製造法を一々實驗して誰にも容易に出來得る様最も親切に極く平易に且つ精密なる挿圖を以て説明せるものにして恰も手を取つて數ふるが如く一讀必ず出來得る天下逸品の寶典也

現代思潮研究會著

### 徳富盧花の哲學

中判上製紙函入  
無類美本全一冊  
定價金壹圓也  
小包送料金八錢

蘆花先生は我が思想界の最大權威にして思想と感情とを代表する文豪也滿天下の讀書子をして狂亂慟哭せしむる氏の小説及隨筆には必ず一貫せる思想即ち氏の獨特の哲學あり教訓あり。本書は氏が從來公にせられたる小説隨筆翻譯十有八篇の中に流るゝ氏の哲學、自然、人生、家庭、變愛、修養、國家社會に對し氏の尊き心の記録は悉く收めて各方面より觀察し批評解説したる快著也

前田默鳳先生編書

### 眞行草字鑑

菊判半裁五百三十餘頁  
上製紙函入  
定價金壹圓十錢  
小包送料金八錢

書道の衰退今日より甚だしきはなく、今人の筆にする所を見るに誤字極めて多し、是れ文明人の耻辱にあらずや、書は或意味に於て處世の秘訣なり、是を以て本書は書道界に名聲噴々たる默鳳前田先生に請ひ、實用文字一萬五千餘字を撰び眞行草の三體に分ち、其正確なるあらゆる書體を示し、字典の部門によりて編書せるもの。假名字彙を附録として、いろはのあらゆる書體を示し、卷末に索引を附したれば、如何なる文字も引用自在なるべし、故に苟も書道に志す者は勿論日常筆硯に親しむ者にして書方崩方を會得し事務の敏達をはからんとする者には片時も缺くべからざる字鑑なり

前田默鳳先生題辭 木村剛石先生著

### 書道の研究

菊判和裝仕立  
定價金五十錢  
郵税金六錢

著者三十餘年間斯道教授の經驗と効果に鑑み書道の根本たる摺書一切の要領を平易簡明に説明して何人にも會得し易からしめたる斯道無二の好著なり、起稿中近日發行愛讀の榮を思ふ。







高等師範學校長 嘉納治五郎先生校閱  
講道館南役 横山作次郎先生  
八講道館前幹事四段 大島英助先生 共著

# 講道柔道教範

寫真圖版百餘圖挿入  
中判舶來上等紙印刷  
定價金一圓五十一錢  
小包郵便料金八錢

本書は講道館にて師範嘉納先生の講義せられたる大綱に基き著者多年の研究と教授の經驗とに依り嘉納先生を始め有段者の諸大家(左記の諸氏)實地取組の寫真を一々挿みて柔道の本義を最も平易に簡明に講述せるものにして初心者に對する手解きより常用の妙技は勿論古來口傳又は秘術として容易に教へざりし當身業の如きものまで包ます隠さず盡く説明を加へ恰も手を取つて教ふるが如く師に就きて學ぶが如し世の斯道を獨修する者と師に就きて修行する者とを問はず若し一本を供へて熟讀參考練習を積まば必ず斯道に熟達するを得べき天下逸品なり。

本書に挿入せる寫眞は左記先生の模範的取組を撮影せるものにして龍戰虎闘の活劇を演ずるものあり深遠高潔の氣宇を吞吐するものあり見るものをして肉躍り汗を流すを覺えざらむ

講道館南役 嘉納治五郎先生  
講道館七段武德會範士 磯村嘉一先生  
講道館七段武德會範士 今井行太先生  
講道館六段武德會範士 青柳喜太郎先生  
講道館五段武德會範士 大角義三先生  
講道館四段武德會範士 大野角三先生  
講道館三段武德會範士 野村桂三先生  
講道館二段武德會範士 野村桂三先生  
講道館一段武德會範士 野村桂三先生

早稲田大學教授 五十嵐力先生著

# 趣味の傳説

四六判挿圖三十餘個  
上製無類美本紙函入  
一冊正價金一圓廿錢  
小包料金八錢

## 愛すべき世界著述

- 傳説は國民の趣味の自然に滴つて凝固したものである。
- 傳説は社會が默り書か歴史である。
- 歴史は壇に立つ者の演説である、而して誇張して餘所行きの聲である。
- 傳説は居間に於ける内證話である。其ひそくと語り聲は低いけれども心底の欺かぬ聲であり而して秘親展の手紙を見るやうな味がある。
- 歴史は師傳である。傳説は戀人である。

- 本書は遠からず英文に翻譯せられたる歐米の文壇に現はるべき約束が成立つた。
- 本書は著者が多年蒐集した山の如き我國傳説の材料の中より最も興味ある二十が一を選んだものである。
- 著者は自から本書を稱して其著述中最も愛すべき者、過去の傳説集中最も面白き者と云つて居る。
- 要、家庭の讀物として作文の模範として小中學に於ける教材として旅行者の伴侶に當今無比なるは本書である。



實際教育研究會編

運動場の教育的施設

菊判 上製美本  
定價金 一圓四十錢  
郵税金 十 二 錢

小學校の教育は、單に教室内のみにて完成を望むべきにあらずや。然るに從來教育者は、教室と運動場とを別物の如く考へ、教室に於ける研究の多きに反して、運動場の設備施設を等閑に附するの弊ありき。是れ豈に教育上の大缺陷にあらずや。本會茲に見るあり、教室と運動場とを可及的接近せしめんが爲に、先づ運動場の價値を詳述して之が設備法を明かにし、次で教育的施設を智徳體の三項に別ち、苟も運動場に施設經營すべき事項は、悉く網羅して一も漏す所なし。故に眞に教育に効果を奏せんとするの士は、座右一日も缺くべからざる良書なり。

實際教育研究會著

机間巡視と関する新研究

菊判 洋裝美本  
定價金 五十五錢  
郵税金 六 錢

附 訓練管理教授要綱

本書は机間巡視の理論を闡明せんが爲に、之が缺陷、目的、種類、準備、等を明にし、尙進みて各科教授上の巡視法並に巡視に伴ふ教材の取扱法を簡明に叙述したるものにして、實際家の是非共一讀せざる可らざる無二の良書なり。

勝屋英造先生編

外來語辭典

新形四百餘頁紙函入  
上製頗美本携帶至便  
定價七十五錢稅六錢

内證話、惡口、洒落、掛引、等公然と自由自在

本書は外國語にして我が國に輸入され既に邦語となつて今日盛に行はる、新語七千餘を撰び之に原語を加へ簡明に解釋せるものなり。哲學、政治、法律、經濟、社會、宗教、文藝、各方面に亘る學術語を始め實業上の用語、社交上のハイカラ語、野球、庭球、用語、飛行器其他最新機械用語等を網羅す。附録として新語及神話小解を添ふ。苟も社交界に活躍せんとする青年男女時勢の潮流に後れざらんとする紳士淑女は是非一本をポケットに備はれよ。

東京 英語 研究會 編

獨修 大正日英新會話

上製 無類美本  
定價金 五十錢  
郵 稅 六 錢

英和會話を知らざれば現代の活社會に立つ能はず本書は本會が多年社交上各方面に亘り研究を重ね最も實用的に最も活用的に而かも獨修的に又中學の英語讀本中の單語を加へ編纂したるものなり。



林 喜 一 先 生 著

公 開 絶 叫

# アキレ申心

▲中判上製頗美本全一冊 定價金一圓十錢 小包料金八錢 市内四錢

上は政府の矛盾を剔抉公開し、以下大臣紳士の横暴より貴夫人の墮落、新聞の功罪及女優藝者の正體等巨細數十項に頒ち一々事實を根據として大膽に氣の毒な程素つ破抜き且論難したる活社會あらゆる裏面の總まくり吾乍らアキレ申候之れも正義の戈なればグーの音も出まいと思ふ而かも痛烈骨を刺す筆鋒言々肺肝より出づ實に無二の毒滅殺菌劑なり。左に内容の二三を記せば

操と命を交換した昔の女 ● 危険なる哉美人? 危険なる哉貞操 ● 僕の見たる東京市の缺點兩面觀 ● 悲劇巡査の免官 ● 痴劇紳士の色師 ● 賭博處分の奇怪事 ● 藝者泣かせ待合檢擧と高官の横暴を論難す ● 行政整理と「矛盾」の說 ● 何故に藝者は役者と密着するか ● 命賭け御殿女中の役者買の事實 ● 新聞紙の功罪と記者の墮落 ● 世界を跨に喰ふ大山師 (官憲大狼狽) ● 藝者にモデル法 (内部展開 現代藝者の資格を擧ぐ) ● 上流家庭の墮落觀 (奥様の不遇) ● 時間と紳士 ● 上流の内幕は明白されず ● 紙面に限りがあるから以下略す。

大町桂月先生校閱 青年雄辨會編

## 最新式辭と演說

四六判上製 美本全一冊 定價一圓十錢 小包送料八錢



本書は社交上諸種の集會、典禮、儀式等に際し口頭にて演說或は文章に認め朗讀するの言辭文章の模範を示し、學事、人事、軍事、土木、雜等に大別し更に各項に分ち新築開校卒業團結送迎褒賞慶賀吊慰披露表彰開通竣工等となし各項講演朗讀に別ち之を懇篤に其要を示し總ての場合應用自由自在ならしむ特に大町先生の校訂を得たれば内容の完備せるは該て喋々を要せず

帝國農業學會顧問 虛川克己先生著

## 農村青年に與ふる書

菊判洋裝美本 定價金九十五錢 送料金八錢

是れ著者が新に苦心研究の結果、其遠大の決筆を揮つて農村青年の爲に農業上、産業上、經濟上の新智識を供給し、且つ農村不振の原因を擧げて親切丁寧に説明したるものなれば農村振興の一大寶典たるべし、且つ學殖該博にして趣味多き著者の思想は大正式の新書簡體を借りて一段の光彩を放ち實に新智識六分教訓四分の新農業書にして地方青年の有益なる座右の友なるは敢て説明を要せず。近時稀有の珍書は是れを措いて何れに求むべきか。



中の諸學、校學、入學、準備、引手、の、な、の、一、番、本

未曾有の大戦争永久子孫に語るべき一大紀念  
萬朝報記者 吉堀毅先生著

# 世界大戦争實記

寫眞及地圖挿入  
大判 函入 美本  
特價 金 壹圓  
送料 金 八錢

光榮 東京高等師範學校茗溪會にて本書を歴史物として讀むべき書として御撰定の光榮を得た。本書の價値を知るべし。本書は世界列強の大血戦を系統的に最も平易通俗に何人にも分りよく小説よりも面白く記述せるもの、見よ大戦亂勃發の眞想と大血戦の實況眼前に變遷し一讀血湧肉躍未嘗有の大戦實記なり。

法學博士 末廣重雄先生著

# 北米の日本人

菊判 上製 美本  
定價 金 壹圓 廿錢  
小包 送料 八錢

著者先に北米に遊び此著成る。北米の眞相を知らんとする者必讀の快著なり。

横山八段 大島四段合著 福井中學校教諭 堀口彌摩吉先生英譯

# 英譯柔道教範

四六判 上製 美本  
寫眞 百餘圖 挿入  
定價 貳圓 五拾錢  
小包 送料 八錢

柔道界の名著也多大の高評を博せし本書を今回英譯して現る此世界的大著の御愛讀乞

正則中學校講師 伊藤豊十先生著

● 增補訂正大正版 ●

中學校 師範學校 幼年學校 實業學校

# 入學準備新算術

中判洋裝全一冊 定價 金 三十錢 郵税金 四錢

中等の諸學校へ入學受験者の最も難關とする算術の眞の指導的準備書として著はされたるものにして現在の國定算術と中等學校教科目の狀勢とを參考して新案懇切に説明せる中等諸學校入學受験者の豫習すべき優良なる新準備書なり。尙尋六年以上の諸氏に良解する様簡易親切に説明しあり。

中等 受験法 研究会 編

● 增補訂正大正版 ●

中學校 師範學校 幼年學校

# 入學受験法

大判洋裝美本 定價 金 二十五錢 郵税金 四錢

此本は中學、師範、女學校、等の諸先生が多人數集まつて皆さんが入學試験を受けるに最も必要の事項を種々研究なされて此本を著はされたので此本を讀めば如何なる試験に臨んでも必ず級第する事が出来る有益の本であり升。



笹川臨風先生校

# 訓。ポケツ。菜根譚

小本上製頗美本  
定價金五十錢  
郵税金六錢

本書は修養と處世の秘訣を説ける東洋唯一の聖書にして論孟を裏面より説けるものなり  
論孟の書は仁義の大道を説けども處世の細緻を盡さず複雑なる現代社會に於ける處世と  
修養の大問題を遺憾なく解決するは實に此書なり。

特色 本文の外に讀方と細密なる頭注を施し小本洋綴の美本とせり。

文學博士遠藤隆吉先生閱 文學士本莊了一先生著

# 精神處世之新研究

菊判洋裝美本  
定價金六十五錢  
郵税金六十錢

人生の戰場に於て弱き者は倒れ修養なき者は煩悶し、努力なき者は敗滅しゆく、生存競争の活社會、著者は青年學生の爲に此快著を提供す。本書を一讀せば煩悶を一掃し、逆運を轉換し、努力活動の精神、向上發展の氣風を振起せしむる現代の新論語なり。

日本大學講師理學士柴田初治郎先生共著  
法政大學小齋藤榮先生  
中學校教諭

# 最新物理化學問題及計算法解義

菊半截判五百頁  
上製美本全一冊  
正價金七十五錢  
郵税金八錢

本書は著者が多年實地教授の經驗と研鑽により物理化學を學修する學生及受驗者の爲に最良なる參考書たらしむる目的を以て編纂せられたる新著にして學生及受驗者に最も適切なる材料を網羅し其記述は最も懇篤平易に精細に説明を興へ難解も容易に理解し得らるゝ様に勉めたるは本書の最も特色とする所なり

理學士柴田初治郎先生著

# 新物理學要領

中判洋裝美本  
上下全二冊  
正價各五十五錢  
郵税金各六錢

本書は諸官立學校の受驗者醫藥の免許受驗者文部省檢定受驗者等が一般復習者に便益の爲に提供せる有益の好著なり  
特色。専ら要所のみを撰輯し正に意を致すべき歸着點を知悉せしむり、了解し難き箇所は特に精細なる説明を施し誤り易き所は之を指摘し註意參考等の欄を設け註釋を試み再び不難な誤解等なからしむ。各節毎に數多の實例及計算問題を配列し一は應用の途を明にし一は數理思想を確的ならしむ。之れ本書の特色なり。



數學教授法研究會編

中學校算術應用問題正解  
教科書

中判上製美本  
定價金七十五錢  
郵稅金八錢

●各中學校等で使用しつゝある算術教科書の解式書現はれたり

全國各中學校にて使用しつゝある算術教科書を種々集め其問題を應用して一々其解き方と答とを示したものである故に各種の算術教科書を使用しつゝある學生諸氏は勿論又算術獨修者にも缺く可からざる良師友である。

初等數學研究會編

算術問題解答

中判洋裝美本  
定價金三十五錢  
郵稅金四錢

本書は嶄新適切なる諸問題約一千を選び一々其解き方と答とを附したる獨習上無二の良参考書である。

早稻田大學教授 五十嵐力先生著

國定讀本文章の研究

菊版洋裝全一冊  
定價金五十五錢  
郵稅六錢

國定讀本は民業に代つた政府の事業であり立派な文章家の親切な努力に成りたるべき筈のものであるが、よく見ると随分蕪雜無趣味なものである。讀本の文章は幼い國民の文章趣味の根柢をなすべきもので、是非とも法格に合し、趣味の高かるべき筈のものであるが、國定讀本の文章は概して趣味なく趣味低く、往々法格に合はぬものがある。本書は文章の研究に新時期を劃した著者が文章學者として教育者として又父としての立場より國定讀本の文章を冊分けに細評したもので、此讀本の美醜は淨玻璃の鏡に向つた如く、一々鮮かに指摘されてある。事は小なれども普通教育の中心課題に關し、小國民全體の基本趣味の養成に關し、延いては國民の品位國家の體面にも關する苟も兒童教育に關係ある者は是非一度は讀まねばならぬ。

五十嵐力先生校閲 遠藤早泉先生著

國語成績考查之新研究

菊判洋裝全一冊  
定價金五拾五錢  
郵稅金郵稅六錢

如何にして八百萬の兒童を批判せんとするか。本書は我が教育界が未だ一指をも觸れ得ざりし成績考查の活問題に對して縦横適確なる論究を試みし着實なる著述なり。苟も普通教育に携る教員と學校とは必ず一本を備へざる可からず。



### ●全國農村小學校農業必習科の活參考書●

農學士 向後衡平先生閱

東京府下石神井  
東小學校長

本橋元治先生著

小學校 補習學校

農業 實習法

一名一坪  
農業之實際

菊判洋裝美本  
定價金五十五錢  
郵税金六錢

本書は一面に於て農業教育を鼓吹し、更に又一面に於ては全國農村小學校に於て實施せらるべき農業必習科の參考に資せん爲、特に著者苦心の結果に成れる物なり、著者は夙に農村小學校に於ける一坪農業の有益なるに着眼し、自ら教鞭を執れる小學兒童に之を實行せしむると共に、自身も亦親しく鋤鋤を採つて耕作に従事しつゝあるものなれば机上の空論と撰を異にし總て、實地試作上より研究したる好著なり。

愛知縣農林學校長  
愛知縣農事試驗所長

山崎延吉先生著

### 農民教育

農村小學校、補習學校、農學校、教育家、學生、農業家、  
べし、著者は斯界の大家本書に就て敢て喋々を要せず。

菊判上製頗美本  
定價金一圓廿錢  
郵税金十二錢  
地方青年團等必ず一本を備ふ

正則豫備學校講師  
京北中學校講師

宮田耀之助先生著

### 代數模範的解法

附 試驗答案の模範的書方

四六版 洋裝  
定價金三十五錢  
郵税金四錢

海城中學校講師

伊藤新重郎先生著

### 算術模範的解法

附 試驗答案の模範的書方

四六版 洋裝  
定價金二十五錢  
郵税金四錢

本書は中等學校生徒又は各學校入學試驗豫習者の爲めに速成的に問題解法の極意を會得せしめんとす又世にありふれたる書と其撰を異にし多年研究に研究を重ね最も珍らしき模範的の解法を示せり又問題の分類を明にし圖解を以て系統的に解法の根本を示し各種問題を解くに當り頗る懇切なり。



伊藤豊十先生著

### 短期復習的數學講義

受験の準備には出来得限り短期間に理解的記憶速成を要す、本書は著が多年教授と實驗との効果により新らしい考案に成りし、算術、代數、幾何、三角等一貫して短期間に上達し得べき様各科共に必須の理論を含める基礎問題に模範的解法を示し各問題集には重要問題を精撰し其難易に應じて解法の指導を與へ之を基礎として其解法を自ら完成し以て學力増進に資せる斯界未だ類を見ざる好著なり。

中判洋裝全四冊  
算術、三角、各二十錢  
代數、幾何、各廿五錢  
郵稅各冊四錢

前早稻田大學 理學士 大場昂先生著

### 新數學公式

本書は算術、代數、幾何、三角法の全般に亘りて其定理公式を最も簡明に記述せる美裝袖珍冊子にして數學の根本義を明瞭ならしめ兼て記憶復習に便ならしむ故に一般學生は勿論受験者諸氏には片時もポケットに缺く可からざる必須の良書なり。

袖珍上製美本  
定價金二十五錢  
送料金 四 錢

文學士樋口龍峽先生新著

### 增訂社會學十回講義

曰く社會教育、曰く社會倫理、曰く社會改良、曰く社會問題、現代の大問題は社會の根本的知識を俟て始めて始めて解釋すべきのみ此最急最要の知識を供するものは社會學に非ずや。社會學の原理を最も平易に、簡明に而かも要を悉して叙述せるもの獨り此書あるのみ。而して著者が斯學のオーソリチーたる敢て贅言を要せず。

菊判總クローズ  
上製美本全一冊  
定價金一圓五十錢  
郵送料十二錢

文學士樋口龍峽先生著

### 社會學小史

上は希臘の思潮に溯り中世を経て近世に至る社會的研究の發展の大觀を叙したるもの、社會學十講と相俟て必讀すべき好著なり。

菊判獨逸式上製  
頗美本全一冊  
定價八十五錢  
郵稅六錢



# 從來の因襲を打破

し學界に新正  
面を開きたる **破天荒**の  
大快著

文學博士 白鳥庫吉先生序 津田左右吉先生著

## 神代史の新しい研究

大判上製頗美本  
全一冊  
定價金一圓廿錢  
小包送料八錢

本書は從來の國史家打破したる最新の科學的組織的研究なり、神代史の性質と其製及び神學者の因襲を打破したる時代の發達の徑路とを論じ神々の特性物語の意義を究め上代人の人生觀宇宙觀を説明し、我が國體及び國民的精神の本源を明にし、記紀の價值を論じ宣長等の學說を批評し、又廣く世界各國の神話傳説との比較研究をなし、著者が多年の蘊蓄を披瀝し破天荒の新學說を提供したる一大著書なり、而かも行文平滑して趣味あり、口語體なれば専門學者以外神代史の大綱と眞意義を現代稀有の好著なり、知らんとする一般讀者諸子の讀物として推賞すべきなり。

文學博士 芳賀矢一先生序 木場喜一郎先生編

## 讀書作文用字鑑

三六版上製美本  
定價金四十五錢  
郵稅金四錢

本書は漢字の異義用法を説明し同訓意義を辨明したるもの而も實例の豊富適切なる語句の精選せられたるは從來の著書と大いに其撰を異にす、されば一般操觚者は勿論學生及教員諸氏の參考書として空前の寶典なり。

大橋蘆水先生考案

## 新色彩採集ノート

袖珍上製携帶至便  
色刷參考圖入  
定價金二十五錢  
郵稅金四錢

●本書を使用せば圖畫圖案に苦もなく上達出来る新考案●

自然物が有する種々の色彩を採集するノートで日常目に觸る、植物の葉花實等或は昆虫の如きもの又何でも色彩の面白と思ふ物は何でも構はず持て來て其調和せる色彩を自由自在に採集する事を得て後に圖畫圖案に應用せば色彩の調和自由自在なり、故に學生諸氏は勿論斯道に志す者必ず携ふべきノートなり。



922F-8

目 書 行 發 店 書 堂 松 二

●克己心修養の發動機は此書●  
安田善次郎翁著

克己實話

翁コロタイプ寫真一葉眞筆小掛軸用コロタイプ寫真一葉挿入

安田翁の生涯は是れ克己の模範翁の説く處該博にして現社會に適切、其高潔なる翁の一生は結晶して此書となる成功を望む者、富を欲する者、是非共讀まざるべからざる空前の名著なり、克己實習ノートと相俟つて是非一讀あらん事を

克己實習ノート

袖珍上製美本  
定價金六十五錢  
特價金五十五錢  
郵税金六錢

克己心を何人にも苦もなく實行せしめんが爲め各章毎に克己の模範的人物寫眞を挿み懇切に説述して各章毎に餘白を置き讀みては記入し克己心を修養しては記入し知らずくの内には克己の強き人たるに至る著者獨特の新考案になりしものなり







